

1 総合計画の策定経過

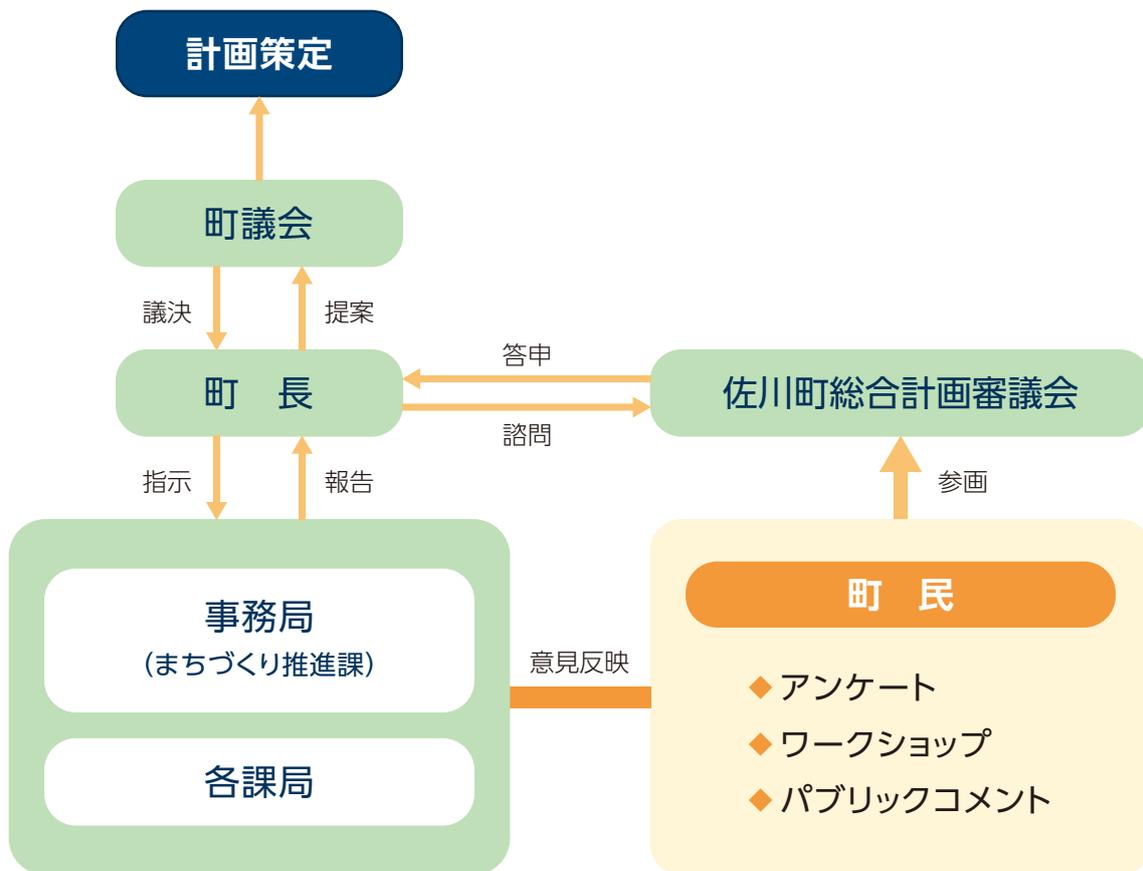
1 計画策定の経過

年月日	会議等	主な内容
令和6年6月18日	第1回審議会	策定について
令和6年11月12日	第2回審議会	策定方針、アンケート調査概要
令和6年11月30日 ～令和7年1月7日	町民アンケート	
令和6年11月30日 ～12月31日	次世代アンケート	
令和7年2月2日	第1回町民ワークショップ	加茂地区
令和7年2月3日	中学生ワークショップ	尾川中学校
令和7年2月7日	第1回町民ワークショップ	黒岩地区
令和7年2月12日	第1回町民ワークショップ	斗賀野地区
令和7年2月13日	第1回町民ワークショップ	尾川地区
令和7年2月16日	第1回町民ワークショップ	佐川地区
令和7年2月20日	中学生ワークショップ	佐川中学校
令和7年2月20日	中学生ワークショップ	加茂中学校
令和7年2月27日	第3回審議会	町民アンケートの結果報告等
令和7年5月27日 ～5月28日	各課局ヒアリング	
令和7年7月25日	第1回審議会	施策体系図、スケジュール等
令和7年7月25日 ～8月18日	関係団体アンケート	
令和7年8月6日	第2回町民ワークショップ	尾川地区
令和7年8月18日	第2回町民ワークショップ	佐川地区
令和7年8月19日	第2回町民ワークショップ	黒岩地区
令和7年8月20日	第2回町民ワークショップ	加茂地区
令和7年8月21日	第2回町民ワークショップ	斗賀野地区
令和7年11月27日	第2回審議会	総合計画（素案）
令和7年12月19日 ～令和8年1月5日	パブリックコメント	
令和8年2月5日	第3回審議会	総合計画（案）

2 計画策定の体制

本計画は、町長の統括のもと、事務局であるまちづくり推進課が中心となり、庁内各課と連携しながら策定を進めました。

佐川町総合計画審議会では、町民の代表や有識者等が、町民アンケートやワークショップ、パブリックコメント等を通じて寄せられた意見を踏まえ、計画内容について多角的な視点から審議を行いました。次に、本計画の策定体制を示します。



2 佐川町総合計画審議会条例

● 佐川町総合計画審議会条例

昭和 46 年 6 月 21 日

条例第 20 号

(設置)

第 1 条 地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 138 条の 4 第 3 項の規定に基づき、佐川町総合計画審議会（以下「審議会」という。）を置く。

(任務)

第 2 条 審議会は、町長の諮問に応じ、本町の総合計画の策定及び実施に関して、必要な調査並びに審議を行い、その結果を町長に答申する。

2 審議会は、総合計画の実施の進捗状況に関して、必要があると認めるときは、町長に建議することができる。

(組織)

第 3 条 審議会は、委員 20 人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから町長が委嘱し、又は任命する。

(1) 町議会の議員 2 人

(2) 町の教育長及び教育委員会の委員 1 人

(3) 町農業委員会の委員 1 人

(4) 町の職員 1 人

(5) 町の区域内の公共的団体の役員及び職員 5 人

(6) まちづくりや地域活動の知識及び経験のある者 5 人

(7) 町の自治会長会の役員 5 人

(委員の任期)

第 4 条 委員の任期は、2 年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員が委嘱され、又は任命されたときにおける当該身分を失った場合は、委員を辞したものとみなす。

3 委員の再任は、妨げない。

(会長及び副会長)

第 5 条 審議会に会長及び副会長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

3 副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第 6 条 審議会の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 会議は、委員の半数以上の出席がなければ開き、議決することができない。

3 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(事務の処理)

第 7 条 審議会の事務は、企画主管課で処理する。

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、町長が定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

(従来条例等の廃止)

2 佐川町振興計画審議会条例(昭和44年佐川町条例第6号)は、廃止する。

附 則(昭和58年9月30日条例第25号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則(昭和59年9月28日条例第15号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則(平成7年3月27日条例第6号)抄

(施行期日)

1 この条例は、平成7年6月1日から施行する。

附 則(平成10年3月27日条例第17号)抄

(施行期日)

1 この条例は、平成10年4月1日から施行する。

附 則(平成18年3月15日条例第13号)

この条例は、平成18年4月1日から施行する。

附 則(平成27年3月13日条例第5号)

この条例は、公布の日から施行する。

第1部

第2部

第3部

参考資料

3 佐川町総合計画審議会委員名簿

佐川町総合計画審議会、佐川町まち・ひと・しごと創生推進会議委員

	氏名	所属	備考
委員	松浦 隆起	佐川町議会	
	坂本 玲子	佐川町議会	任期：令和7年10月15日まで
	中村 卓司	佐川町議会	任期：令和7年11月17日から
	濱田 陽治	佐川町教育委員会	
	北添 正男	佐川町農業委員会	
	浅奥 章公	佐川町職員労働組合	
	大原 淑道	佐川町商工会	
	西森 寿	高知県農業協同組合 佐川支所	
	田村 佳久	佐川町社会福祉協議会	
	大山 端	さかわ観光協会	
	松崎 穰	佐川町金融団	
	秋谷 公博	高知県立大学地域教育研究センター	
	岡崎 笑顔	佐川町男女共同参画推進委員会	
	川崎 まり	黒岩いきいき応援隊	
	森田 有紀	あったかふれあいセンターとかの	
	福島 信彦	高知県産業振興推進部	
	西森 勝仁	佐川町自治会長会 佐川地区	
	田村 公孝	佐川町自治会長会 斗賀野地区	
	河添 周二	佐川町自治会長会 尾川地区	
	谷脇 正純	佐川町自治会長会 黒岩地区	
保木 良史	佐川町自治会長会 加茂地区		

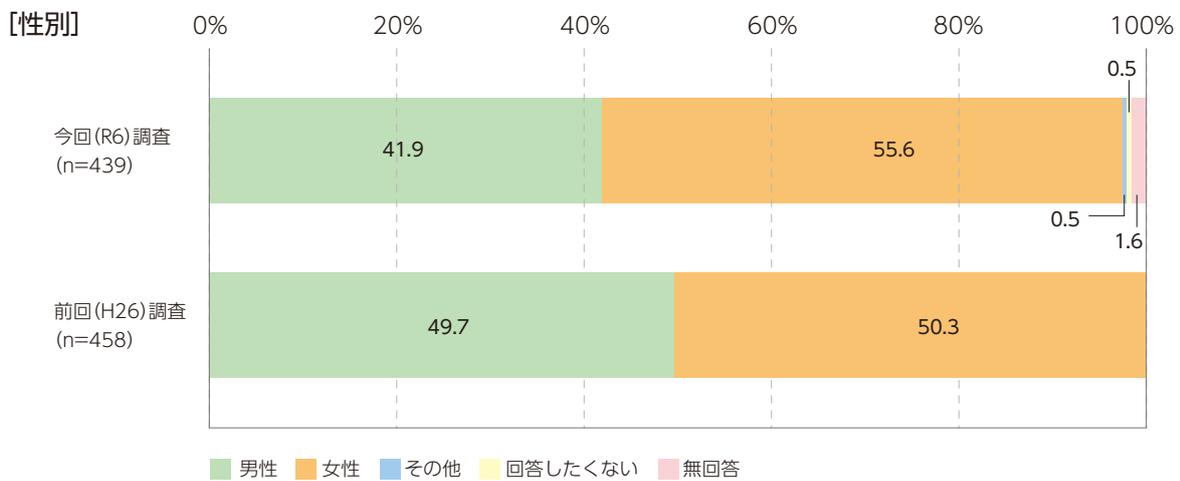
4 アンケート調査結果

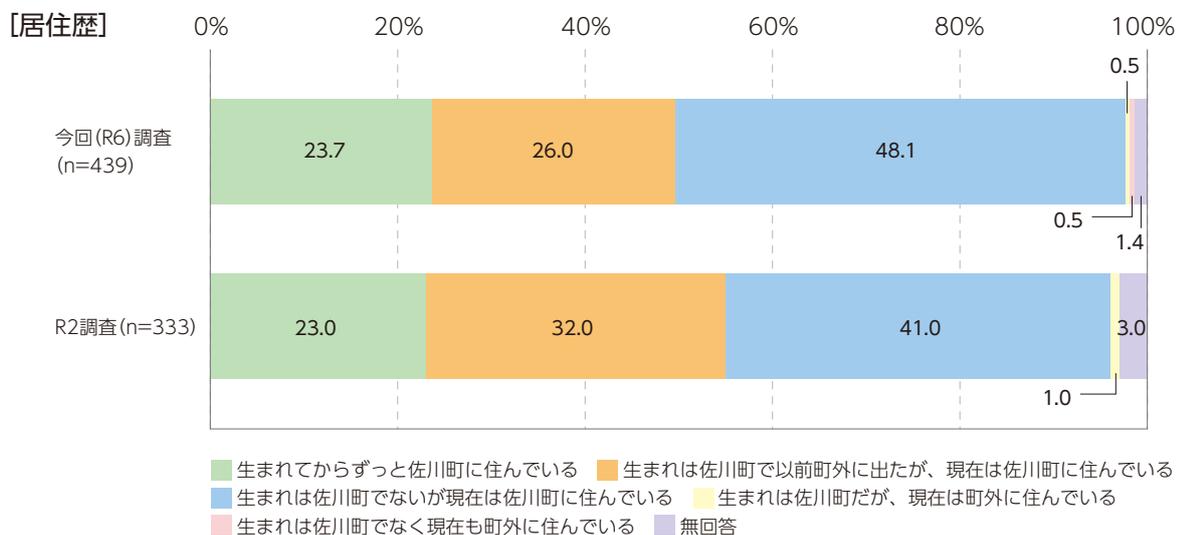
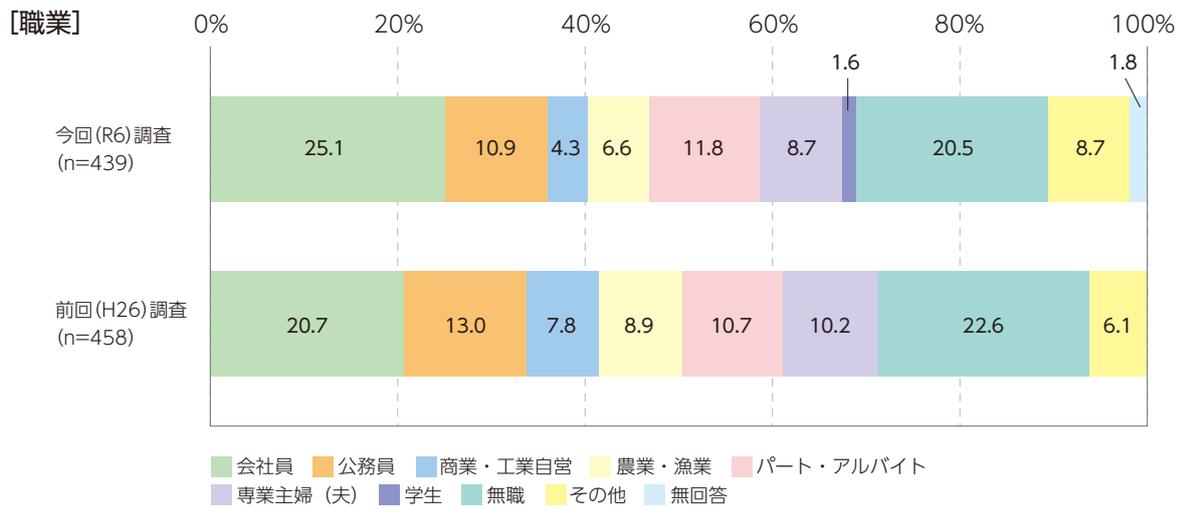
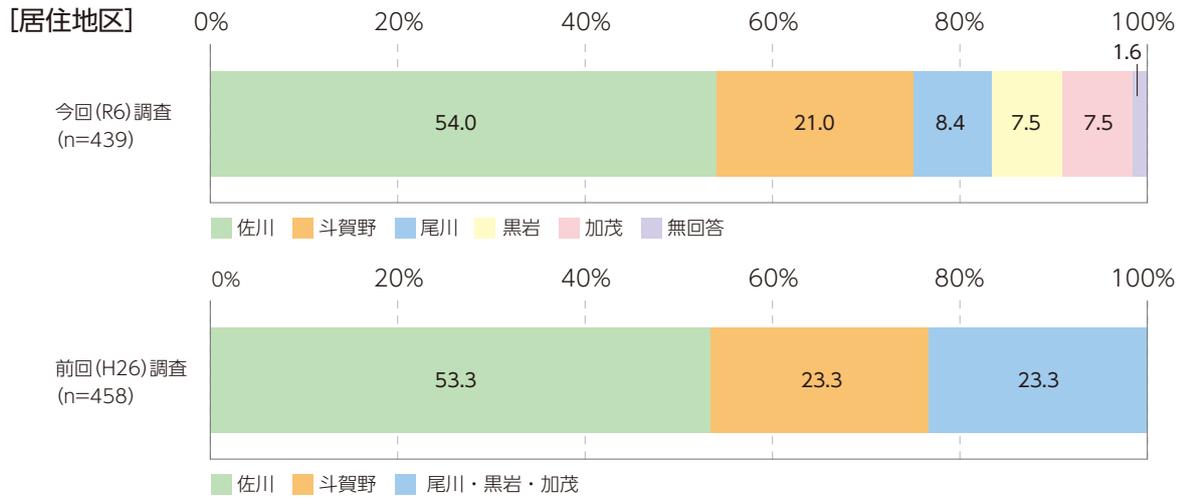
1 調査の概要

総合計画第1部、第2章、第2節記載のとおりです。

2 回答者の基本属性

調査結果によれば、回答者の性別は女性が55.6%と最も多く、年齢層では70代以上が30.5%を占めました。

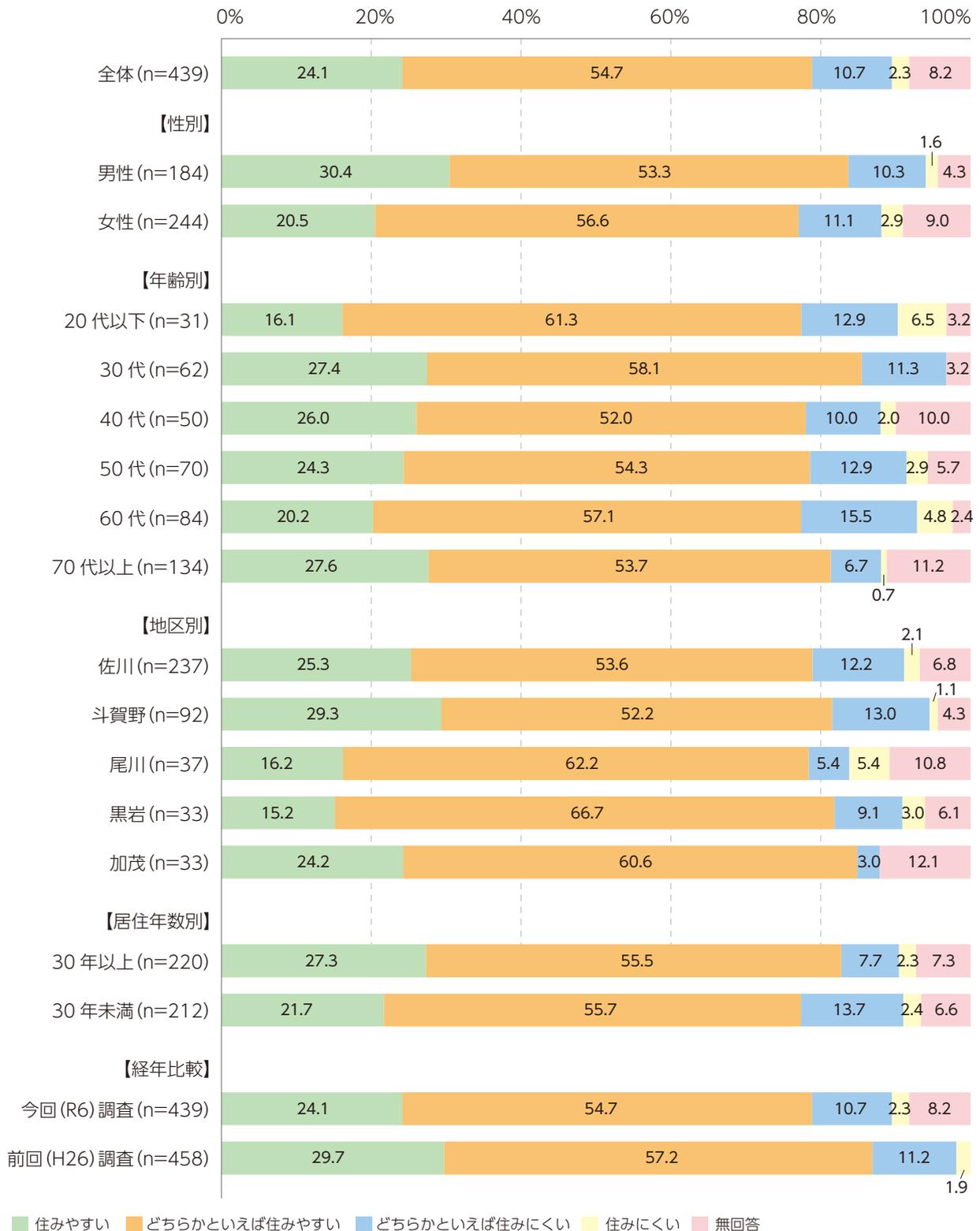




3 住み心地と地域の評価

① 住み心地について

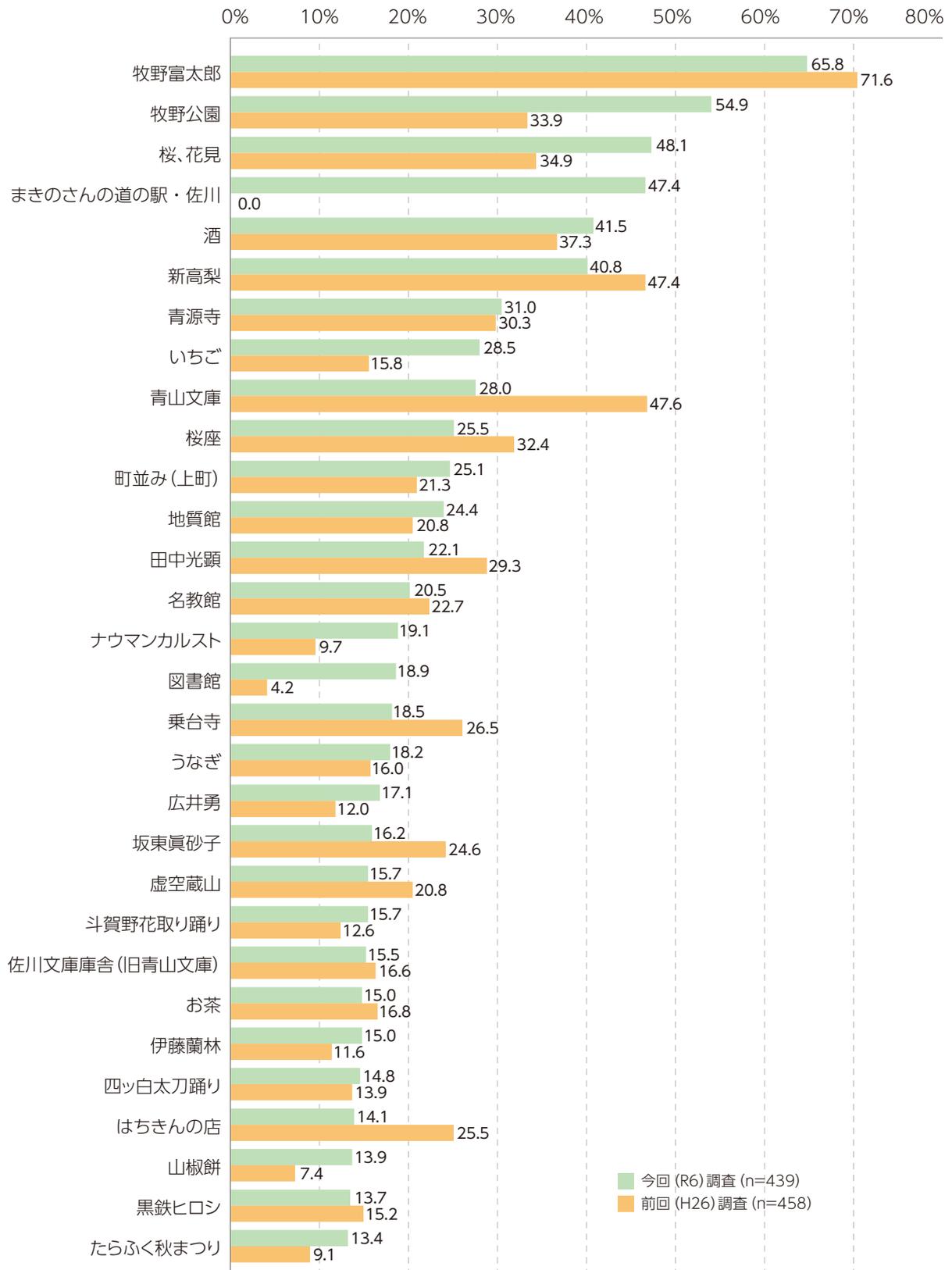
住みやすさについて「どちらかといえば住みやすい」との回答が54.7%を占め、「住みやすい」との回答を合わせると78.8%に達しました。一方、「住みにくい」との回答は2.3%にとどまりました。



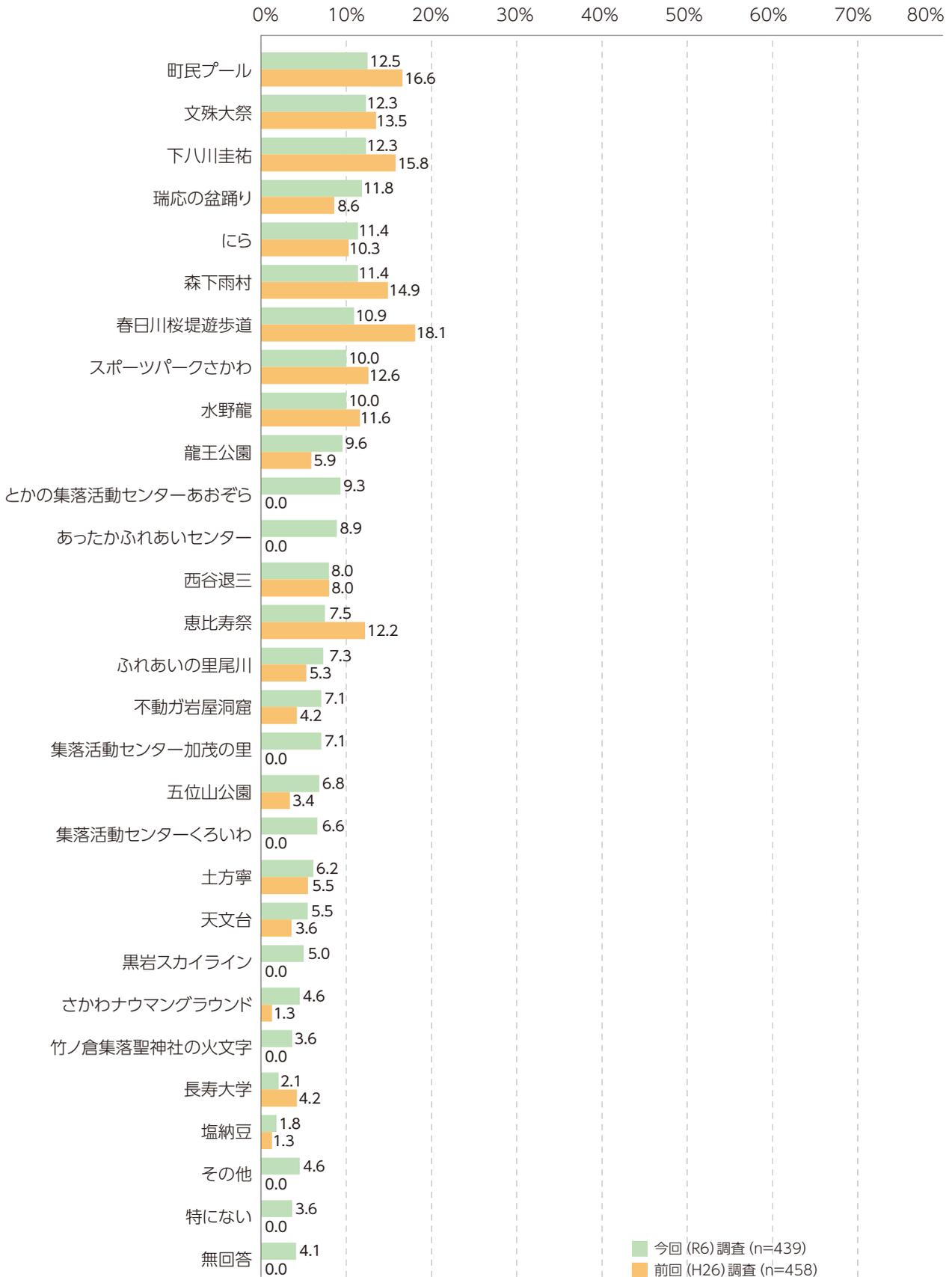
② 佐川町の自慢について

佐川町の自慢として「牧野富太郎」が65.8%と最も高く、「牧野公園」が54.9%、「桜、花見」が48.1%と続いています。

[佐川町の自慢 1]



【佐川町の自慢 2】



第1部

第2部

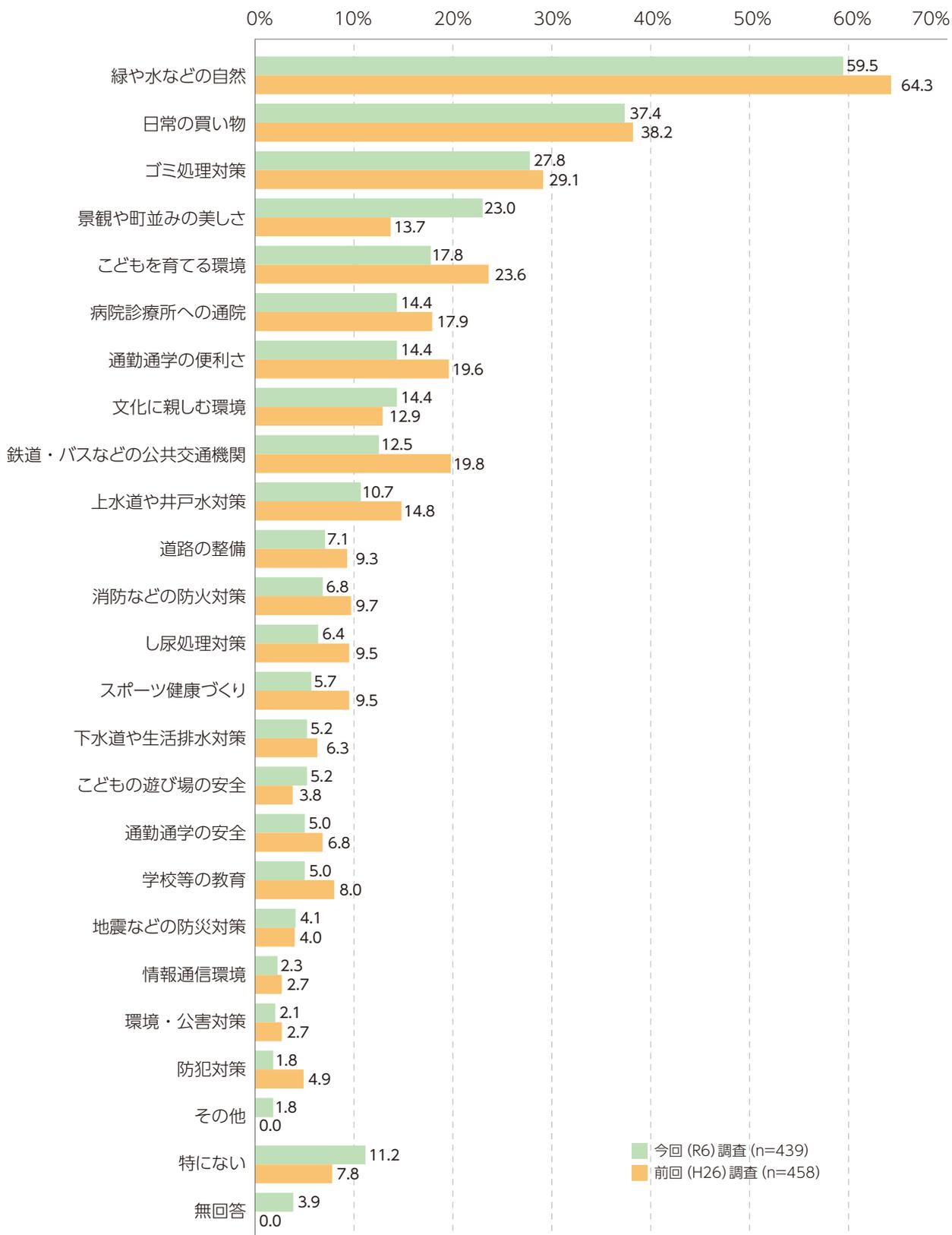
第3部

参考資料

③ 生活環境について

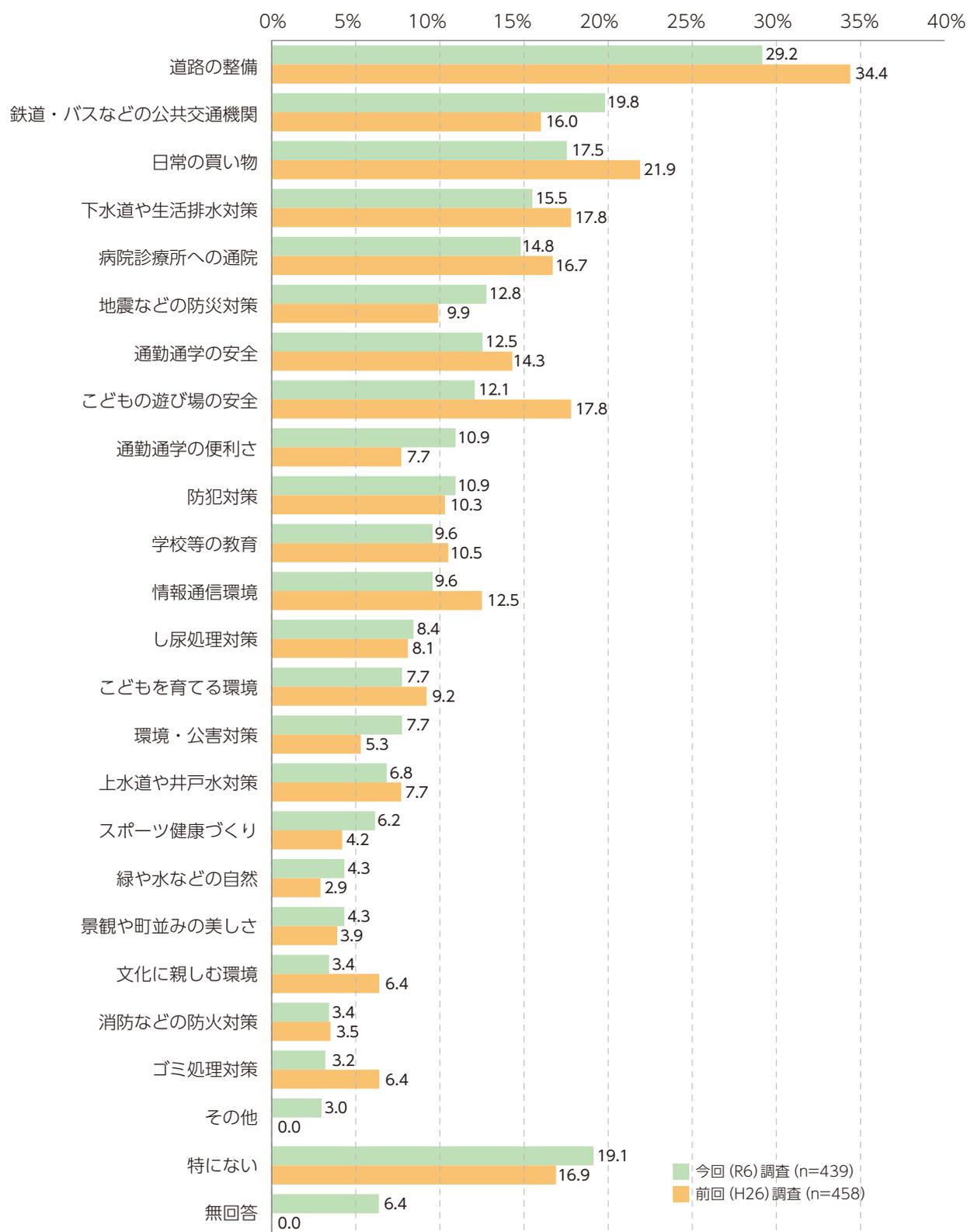
■満足していること

生活環境の満足点として「緑や水などの自然」が59.5%と最も高く、「日常の買い物」が37.4%、「ゴミ処理対策」が27.8%と続いています。



■不満に感じていること

一方、不満点としては、「道路の整備」が29.2%と最も高く、「鉄道・バスなどの公共交通機関」が19.8%、「日常の買い物」が17.5%と続いています。



第1部

第2部

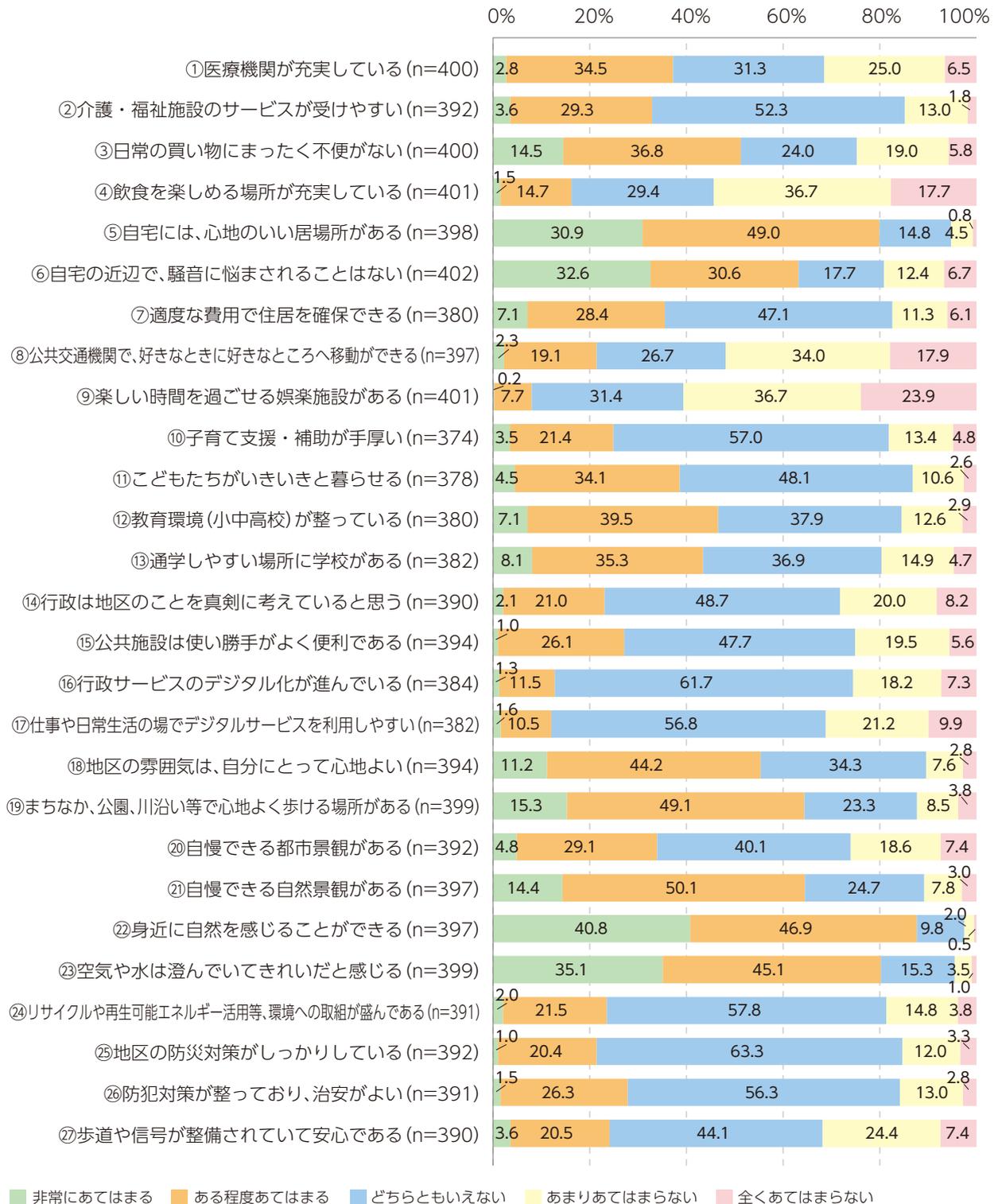
第3部

参考資料

4 暮らしやすさの幸福度

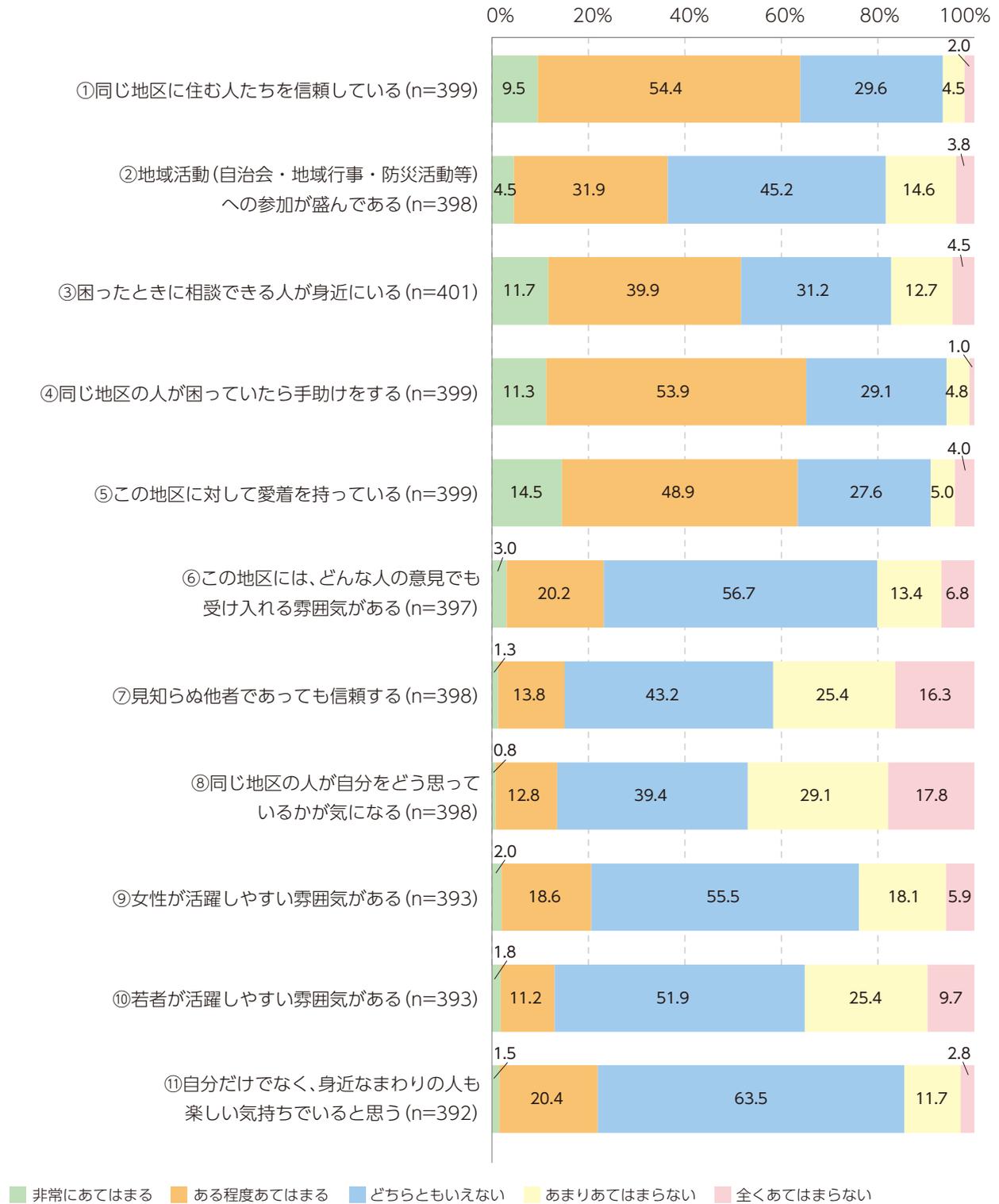
① 生活環境の満足度について

生活環境に関することで「非常にあてはまる」の割合をみると、〈②身近に自然を感じることができる〉が40.8%と最も高く、〈②③空気や水は澄んでいてきれいだと感じる〉が35.1%と続いています。



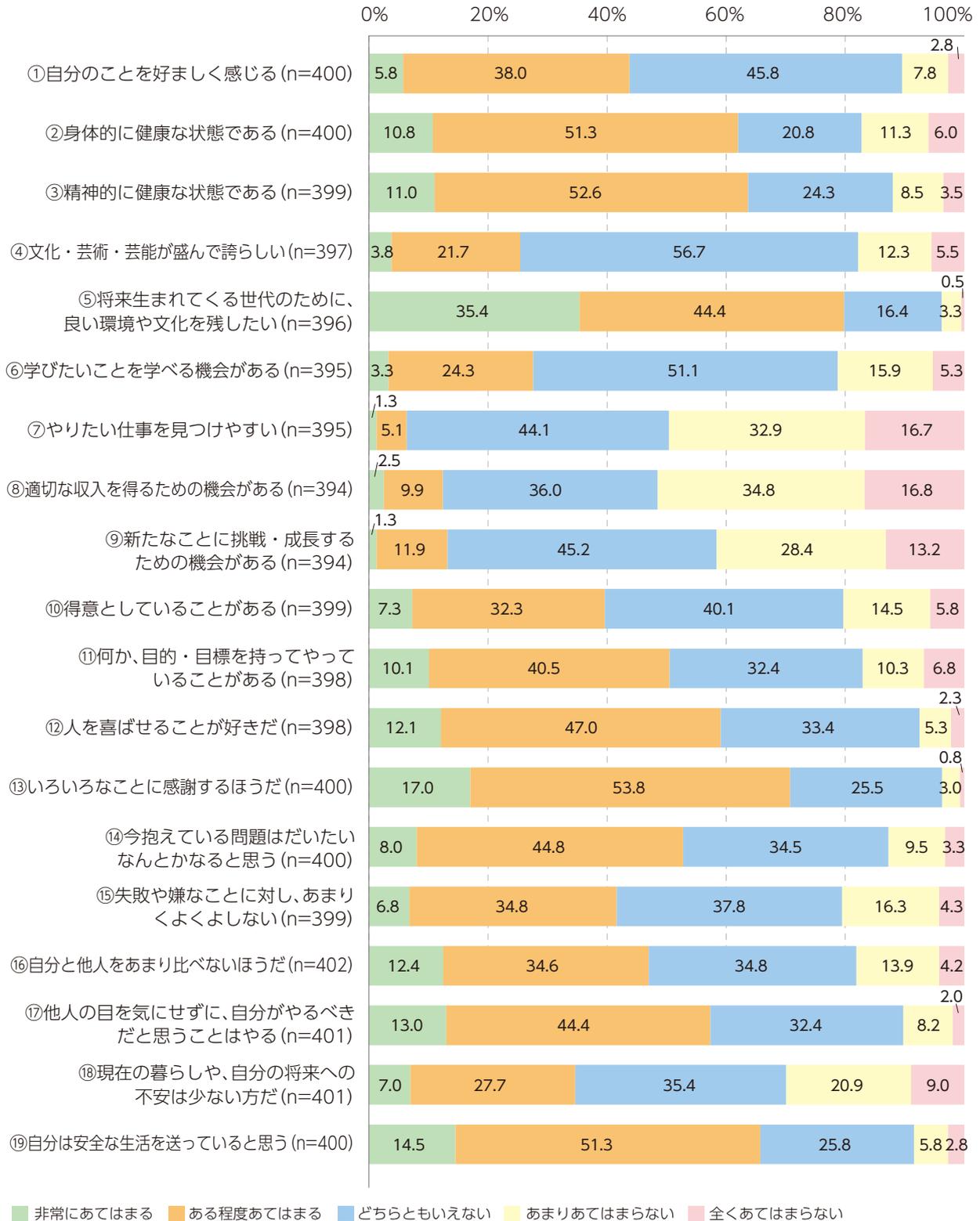
② 人間関係の満足度について

人間関係に関することで「非常にあてはまる」の割合をみると、〈⑤この地区に対して愛着を持っている〉が14.5%と最も高く、〈③困ったときに相談できる人が身近にいる〉が11.7%、〈④同じ地区の人が困っていたら手助けをする〉が11.3%と続いています。



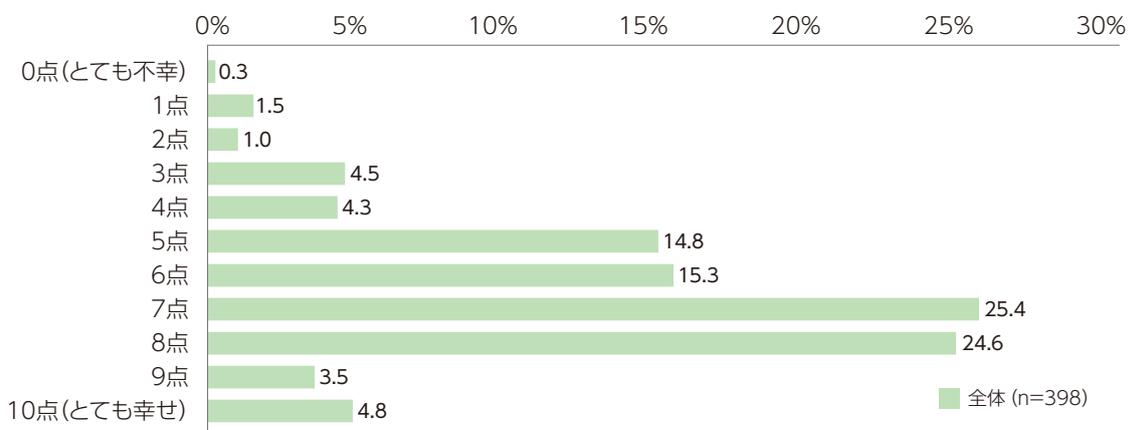
③ 自分らしい生き方について

自分らしい生き方に関することで「非常にあてはまる」の割合をみると、〈⑤将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい〉が35.4%と最も高く、〈⑬いろいろなことに感謝するほうだ〉が17.0%、〈⑲自分は安全な生活を送っていると思う〉が14.5%と続いています。



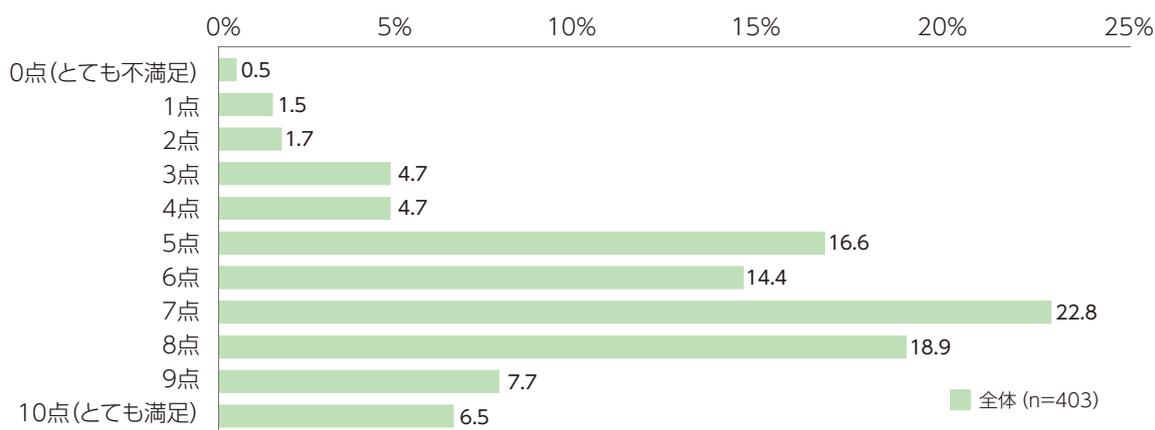
④ 暮らしの幸福度について

佐川町での暮らしをどの程度「幸せ」だと感じているかについては、「7点」が25.4%と最も高くなっています。



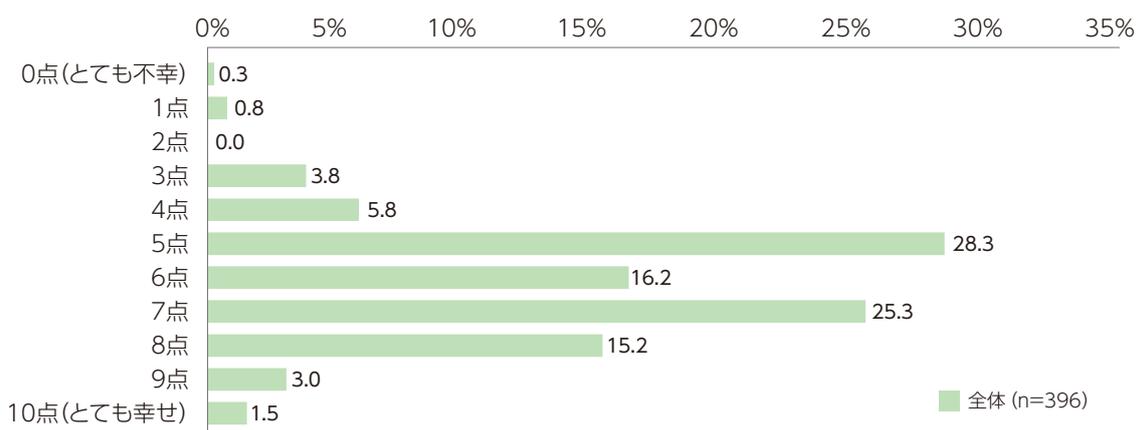
⑤ 暮らしの満足度について

現在住んでいる地区での暮らしにどの程度「満足」しているかについては、「7点」が22.8%と最も高くなっています。



⑥ 地区の人々の幸福度について

地区の人々は、大体において、どれぐらい「幸せ」だと思うかについては、「5点」が28.3%と最も高くなっています。

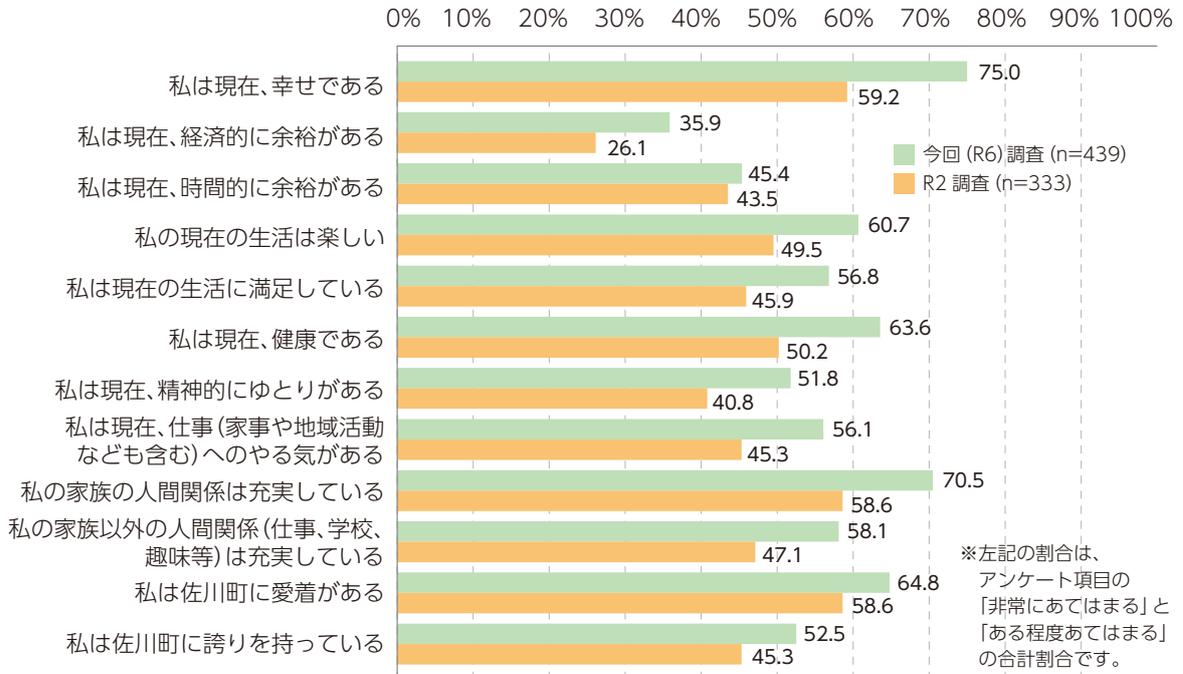


⑦ 自身の幸福度について

上述④～⑥の設問内容と一部重複する点がありますが、令和2（2020）年に実施した町民アンケートの関連設問との比較・検討することを考慮し、自身の幸福度に関する設問も設けました。

自身の幸福度について、〈私は現在、幸せである〉が75.0%と最も高く、〈私の家族の人間関係は充実している〉が70.5%と続いています。

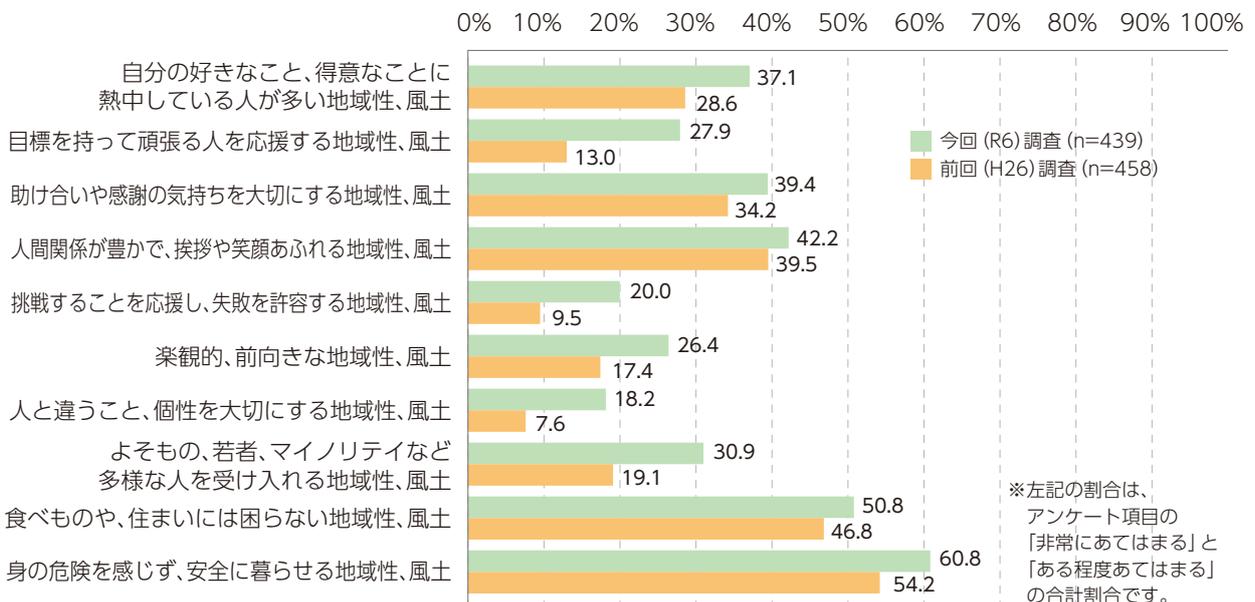
経年比較では、すべての項目で前回調査よりも該当割合が高くなっています。



⑧ 佐川町の地域性、風土について

佐川町の地域性、風土について、〈身の危険を感じず、安全に暮らせる地域性、風土〉が60.8%と最も高く、〈食べものや、住まいには困らない地域性、風土〉が50.8%と続いています。

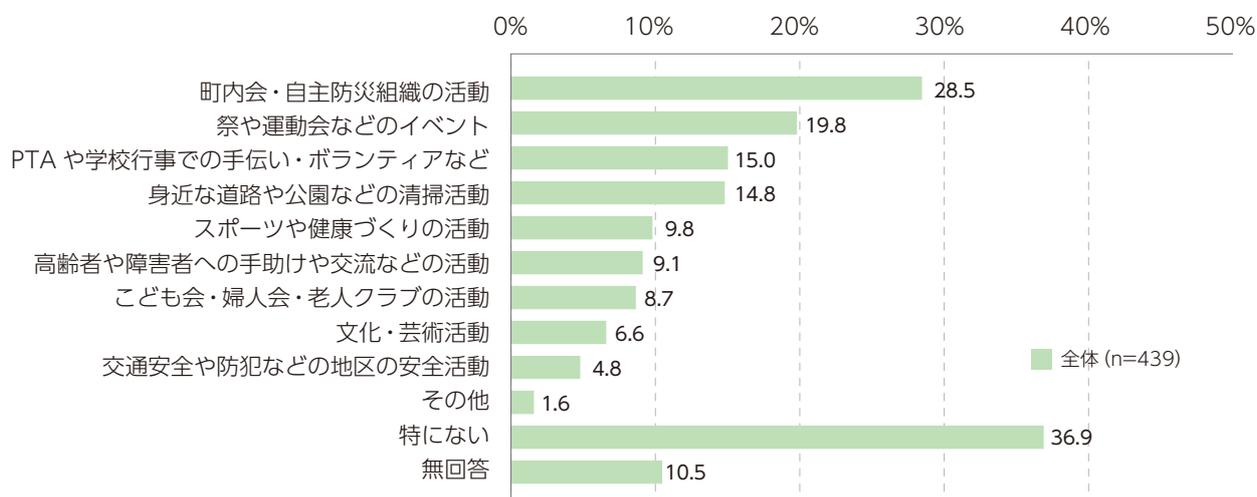
経年比較では、すべての項目で前回調査よりも該当割合が高くなっています。



5 まちづくりへの意識

① 町内活動への参加について

町内活動への参加状況について、「町内会・自主防災組織の活動」が28.5%と最も高く、「祭や運動会などのイベント」が19.8%、「PTAや学校行事での手伝い・ボランティアなど」が15.0%と続いています。なお、「特にない」は36.9%となっています。

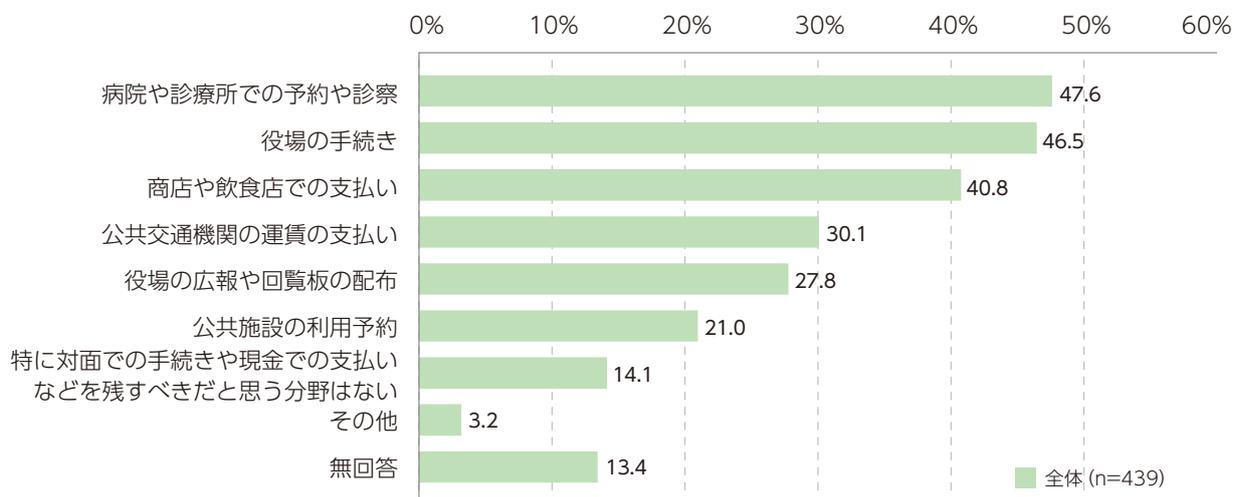


町内活動への参加状況について、「特にない」以外を回答した方に、今後、参加を続けたいかを尋ねたところ、「今後も同じくらいの頻度で参加したい」が47.6%と最も高く、「今後は参加頻度を減らしたい」と「わからない」が、それぞれ10.8%と続いています。



② デジタル化に関する意識について

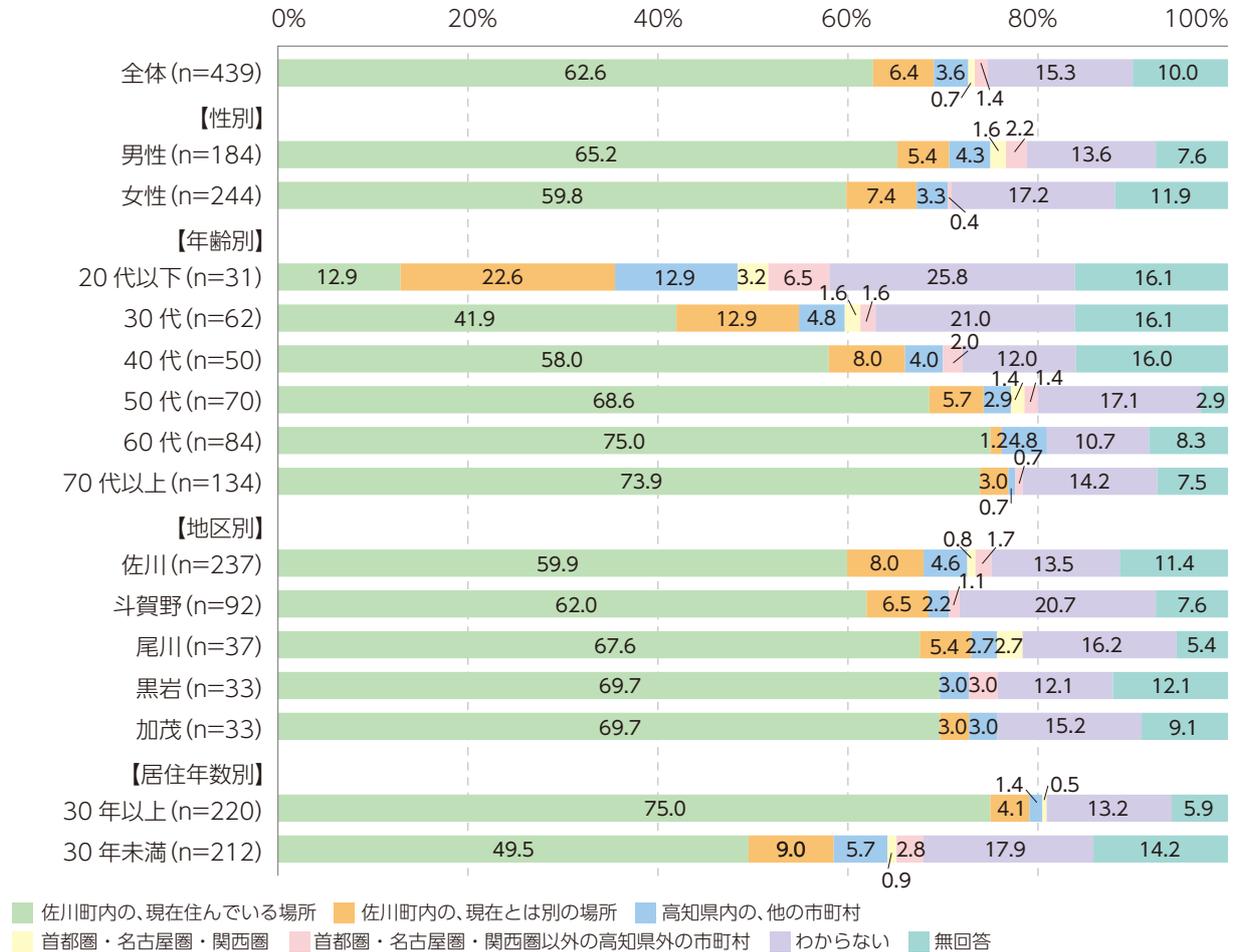
今後、町内のデジタル化が進むことを前提に、対面手続きや現金支払いを残すべき分野について尋ねたところ、「病院や診療所での予約や診察」が47.6%と最も高く、「役場の手続き」が46.5%、「商店や飲食店での支払い」が40.8%と続いています。



③ 町の未来像について

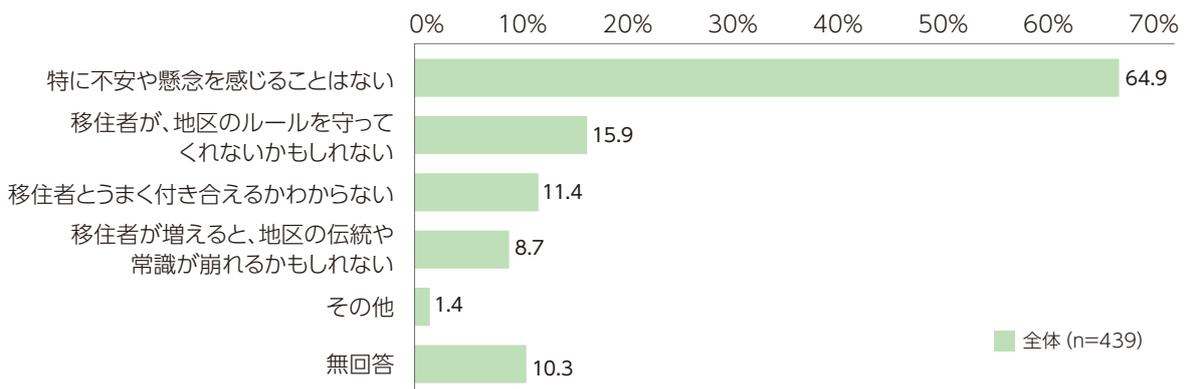
■ 10年後の居住場所について

10年後の居住場所について、「佐川町内の、現在住んでいる場所」が62.6%と最も高く、「わからない」が15.3%、「佐川町内の、現在とは別の場所」が6.4%と続いています。



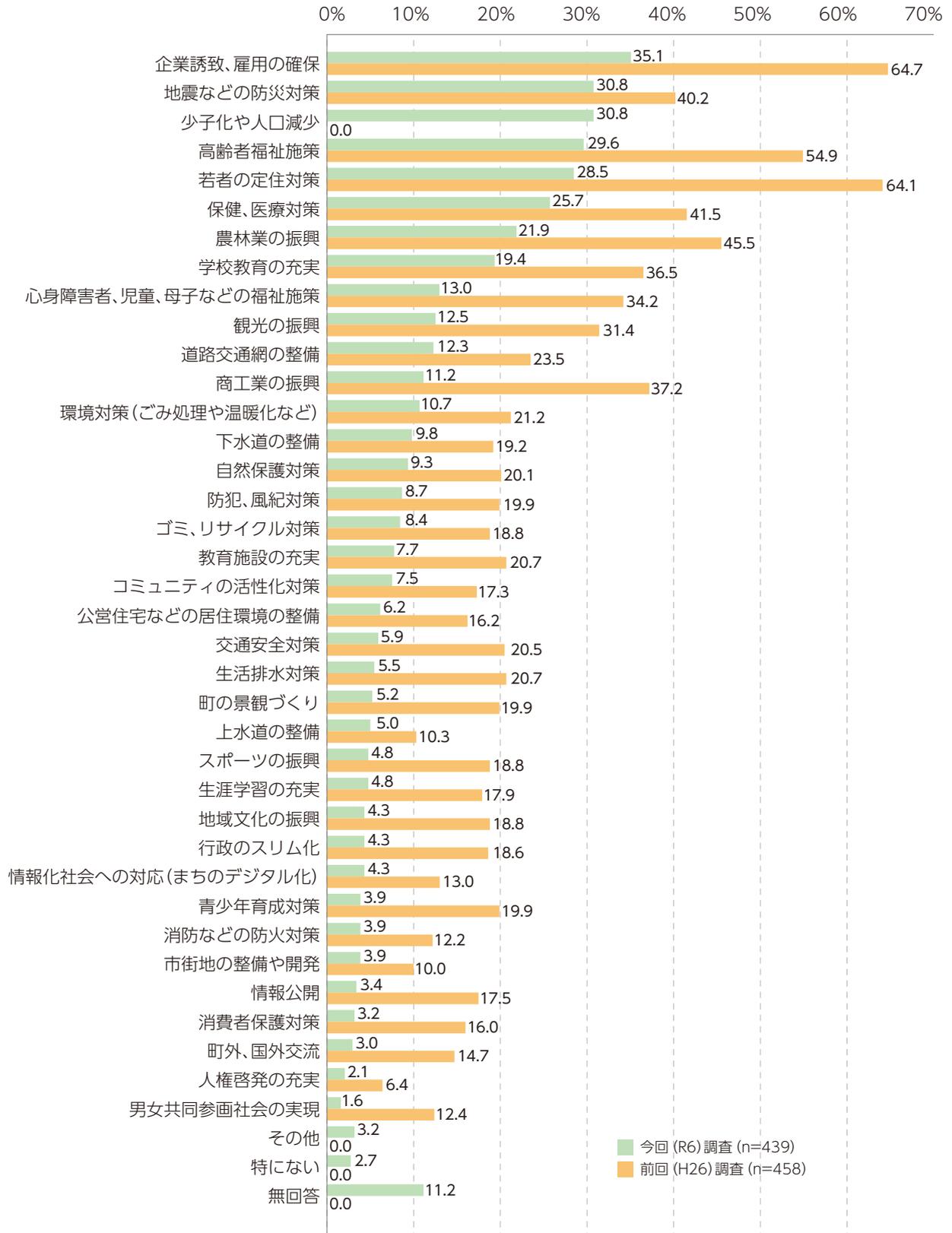
■ 転入者増加への不安や懸念について

今後、佐川町に町外からの転入者が増えることに対して、不安や懸念を感じるかについて、「特に不安や懸念を感じることはない」が64.9%と最も高く、「移住者が、地区のルールを守ってくれないかもしれない」が15.9%、「移住者とうまく付き合えるかわからない」が11.4%と続いています。



■今後 10 年間で力を入れて欲しい施策分野について

今後の行政施策の優先分野としては、「企業誘致、雇用の確保」が 35.1%と最も高く、「地震などの防災対策」と「少子化や人口減少」が、それぞれ 30.8%と続いています。

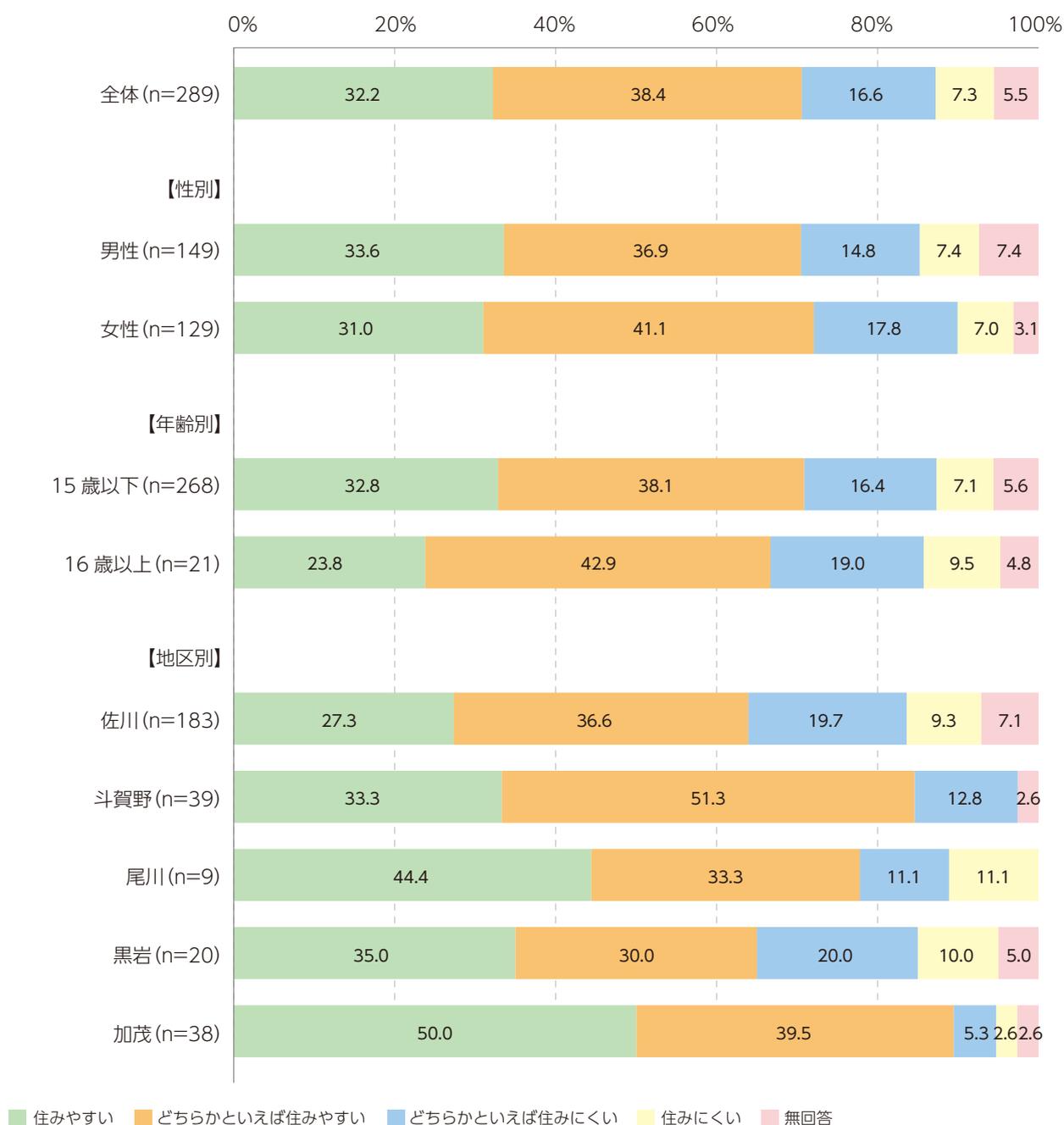


6 若年層の意識

次世代（中高生）の調査については、以下のような結果が得られました。

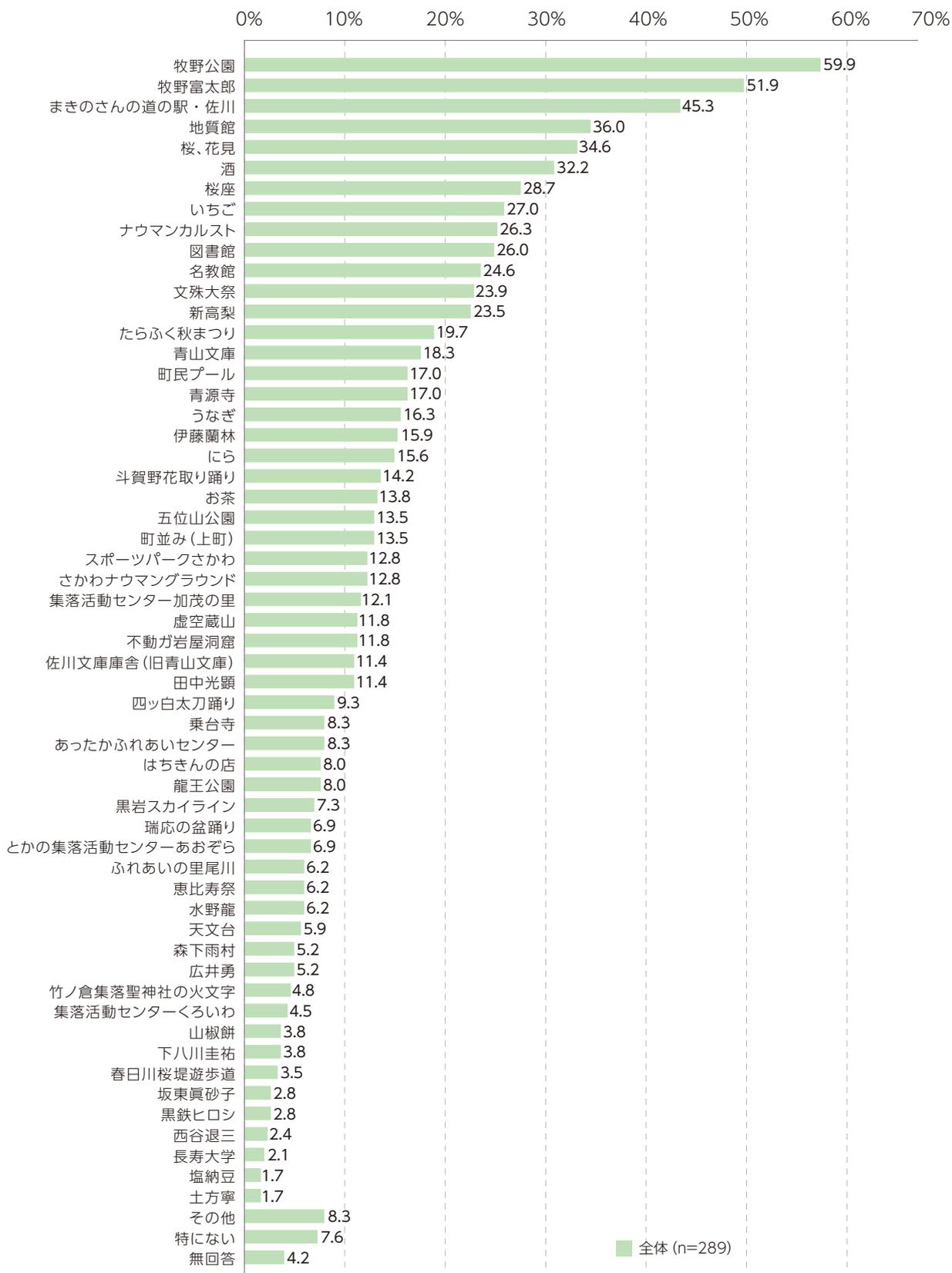
① 住み心地について

住み心地について、「どちらかといえば住みやすい」が38.4%と最も高く、「住みやすい」が32.2%、「どちらかといえば住みにくい」が16.6%と続いています。「どちらかといえば住みやすい」と「住みやすい」を合わせた『佐川町は住みやすい』は70.6%となっています。一方、「住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」を合わせた『佐川町は住みにくい』は23.9%となっています。



② 佐川町の自慢について

次世代の住民が考える佐川町の自慢は、「牧野公園」が59.9%と最も高く、「牧野富太郎」が51.9%、「まきのさんの道の駅・佐川」が45.3%と続いています。



第1部

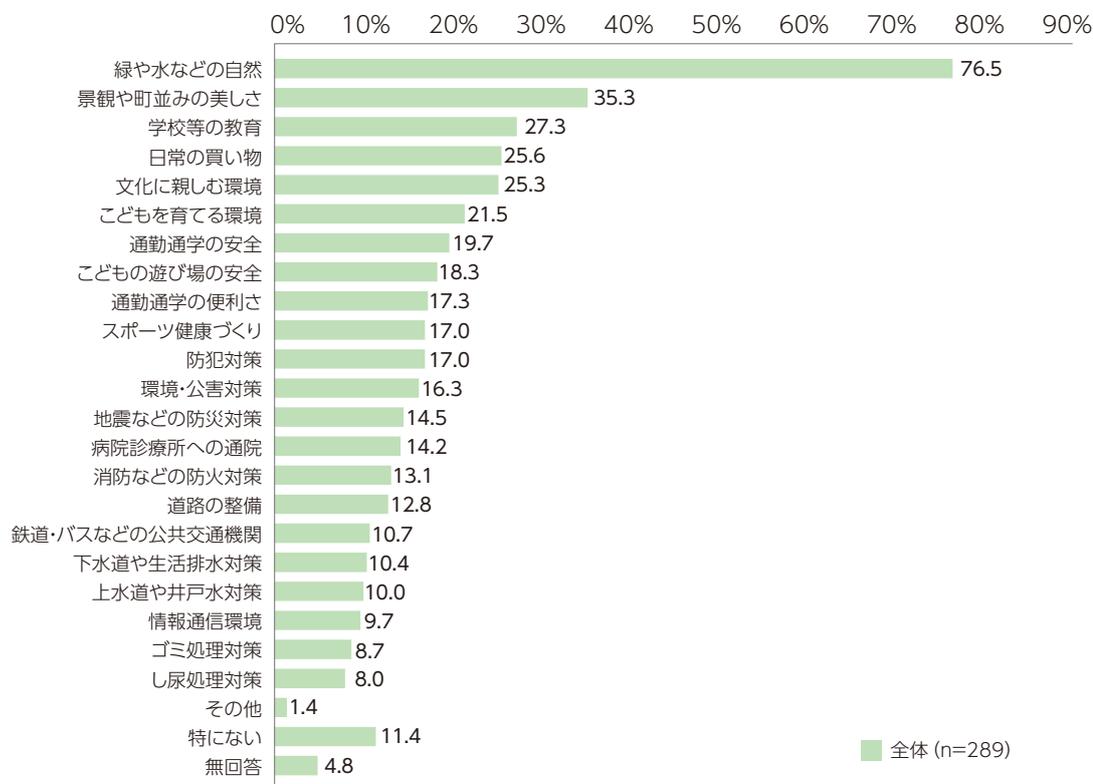
第2部

第3部

参考資料

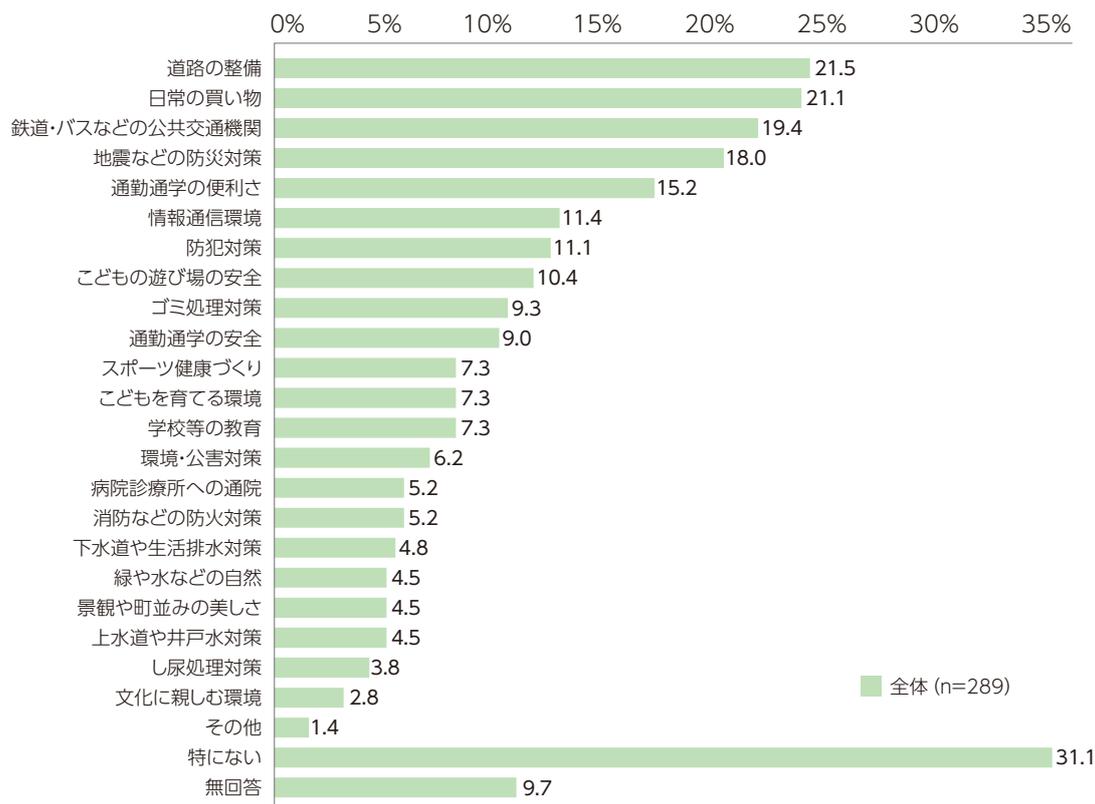
③ 生活環境の満足度について

生活環境で満足していることについて、「緑や水などの自然」が76.5%と最も高く、「景観や町並みの美しさ」が35.3%、「学校等の教育」が27.3%と続いています。



④ 生活環境での不満について

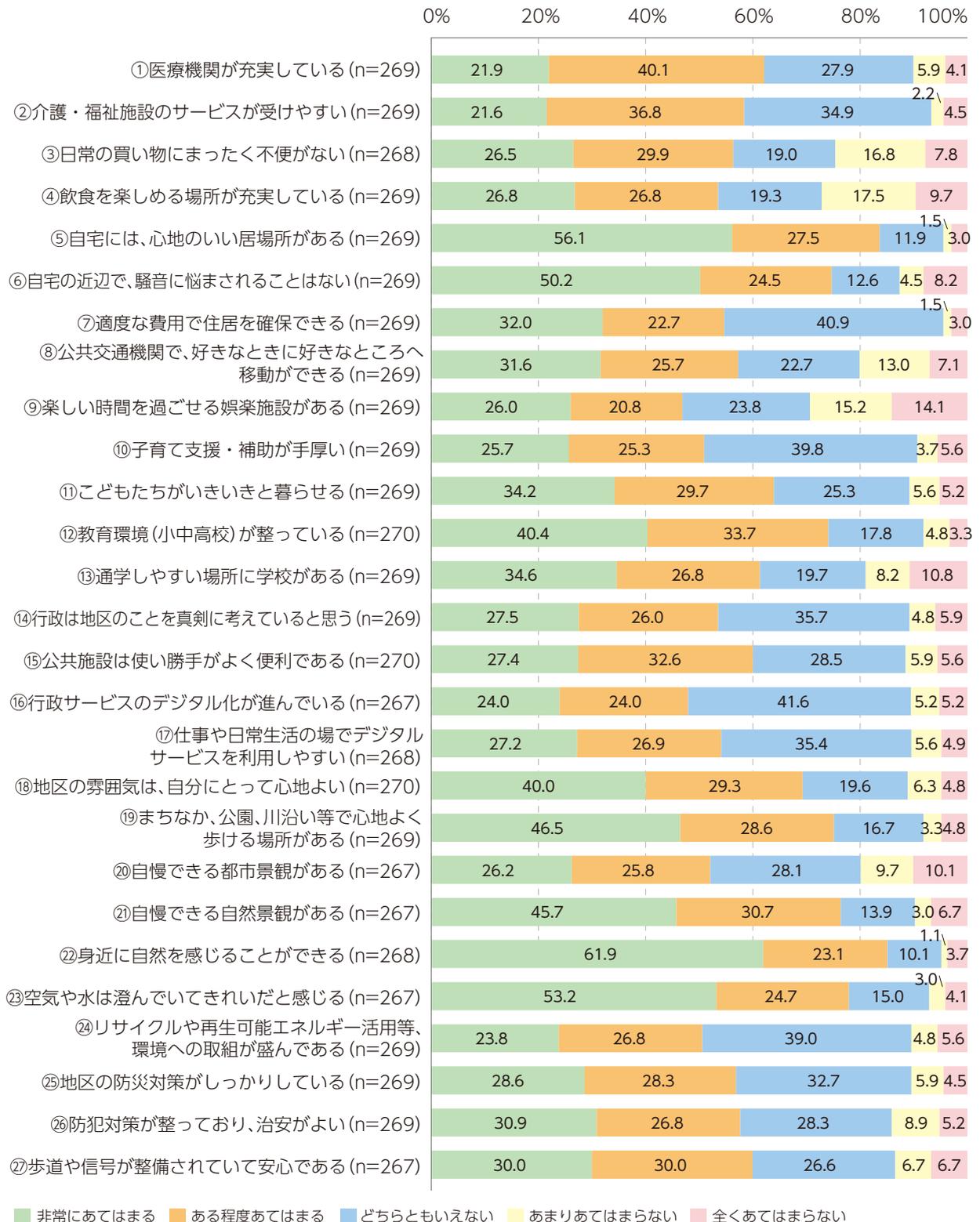
生活環境で不満があることについて、「道路の整備」が21.5%と最も高く、「日常の買い物」が21.1%、「鉄道・バスなどの公共交通機関」が19.4%と続いています。



⑤暮らしやすさの幸福度について

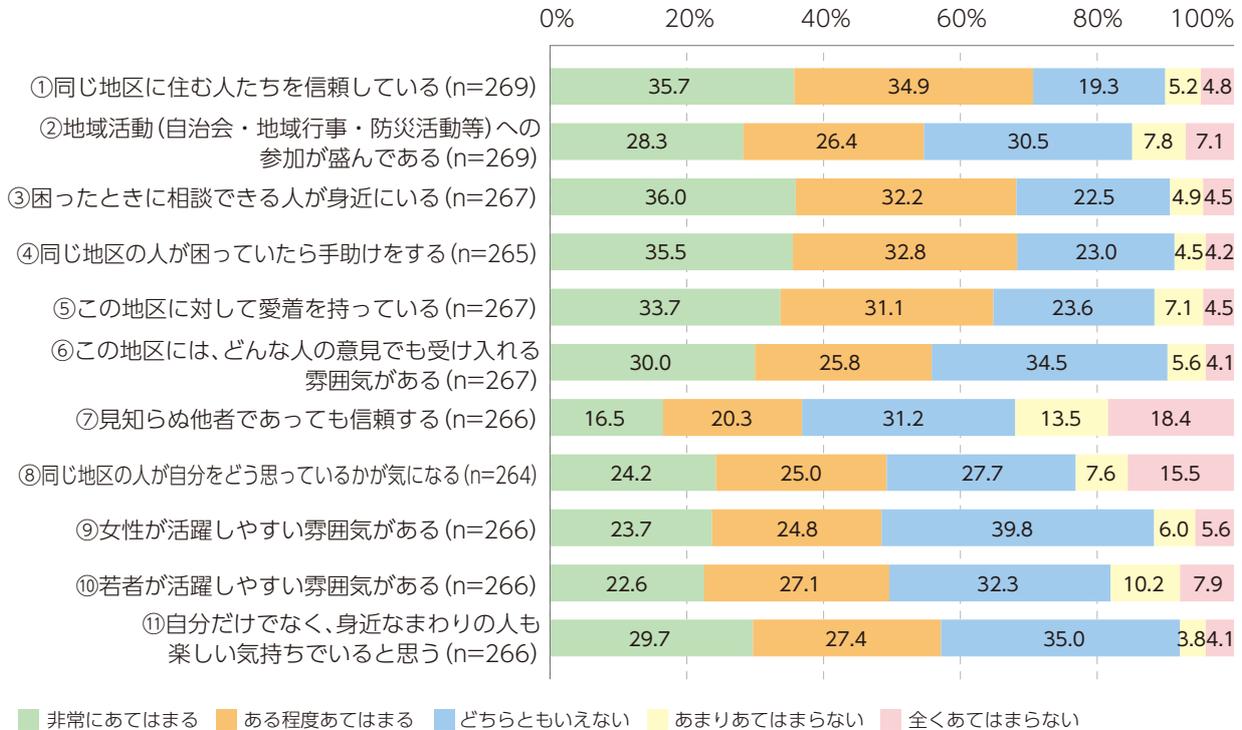
■生活環境の満足度について

生活環境に関することで「非常にあてはまる」の割合をみると、〈②身近に自然を感じることができる〉が61.9%と最も高く、〈⑤自宅には、心地のいい居場所がある〉が56.1%と続いています。



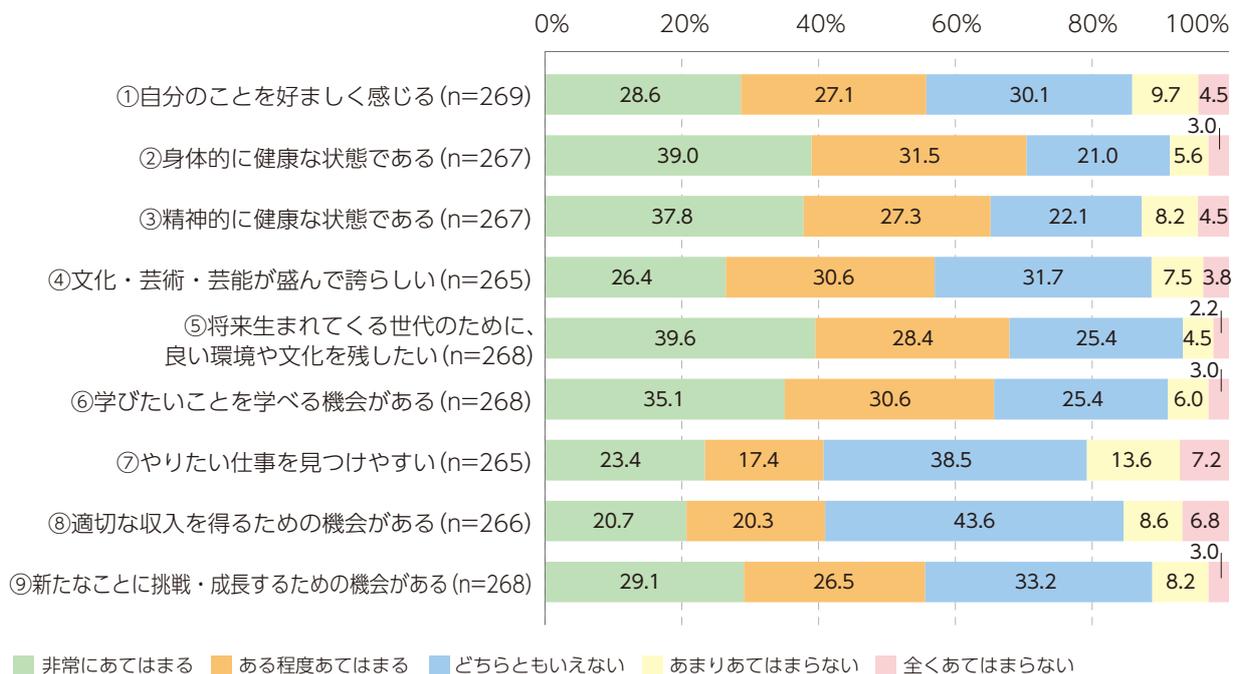
■人間関係の満足度について

人間関係に関することで「非常にあてはまる」の割合をみると、〈③困ったときに相談できる人が身近にいる〉が36.0%と最も高く、〈①同じ地区に住む人たちを信頼している〉が35.7%、〈④同じ地区の人が困っていたら手助けをする〉が35.5%と続いています。



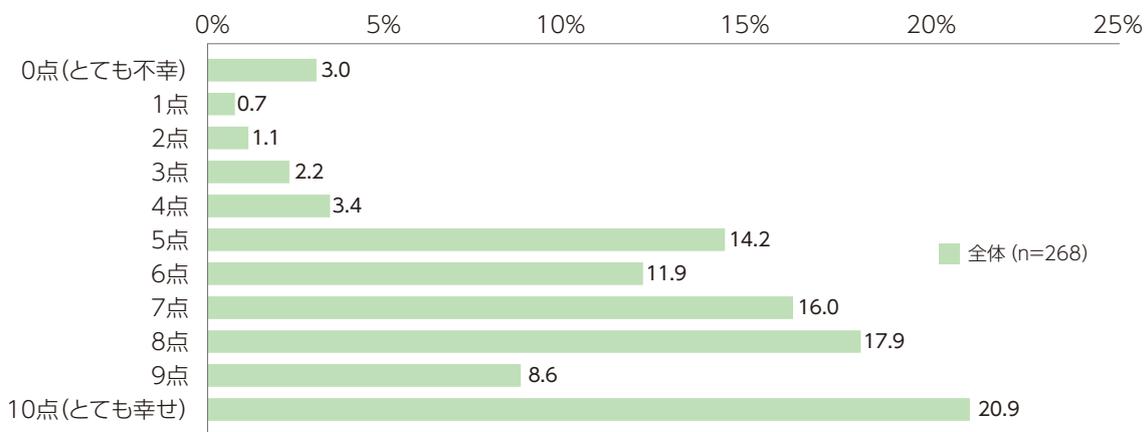
■自分らしい生き方について

自分らしい生き方に関することで「非常にあてはまる」の割合をみると、〈⑤将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい〉が39.6%と最も高く、〈②身体的に健康な状態である〉が39.0%、〈③精神的に健康な状態である〉が37.8%と続いています。



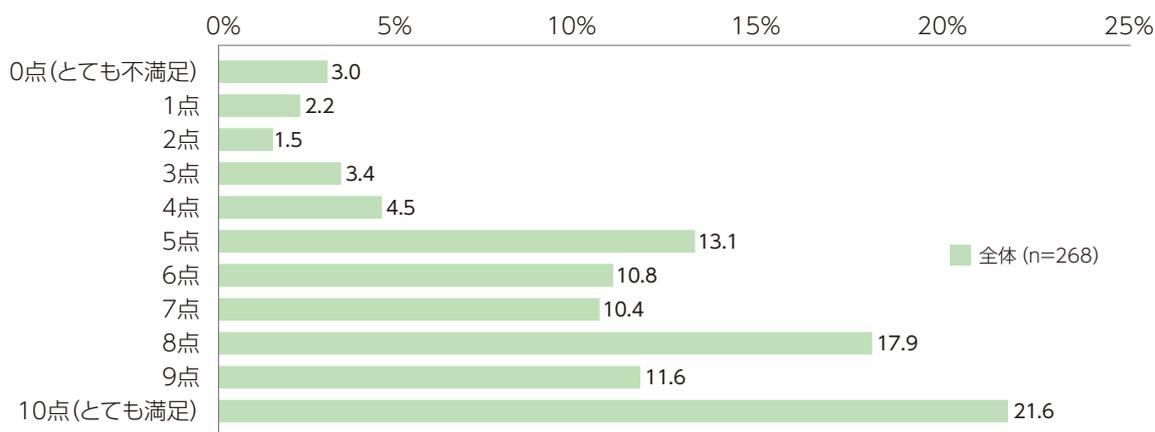
⑥ 暮らしの幸福度について

佐川町での暮らしをどの程度「幸せ」だと感じているかについては、「10点（とても幸せ）」が20.9%と最も高くなっています。



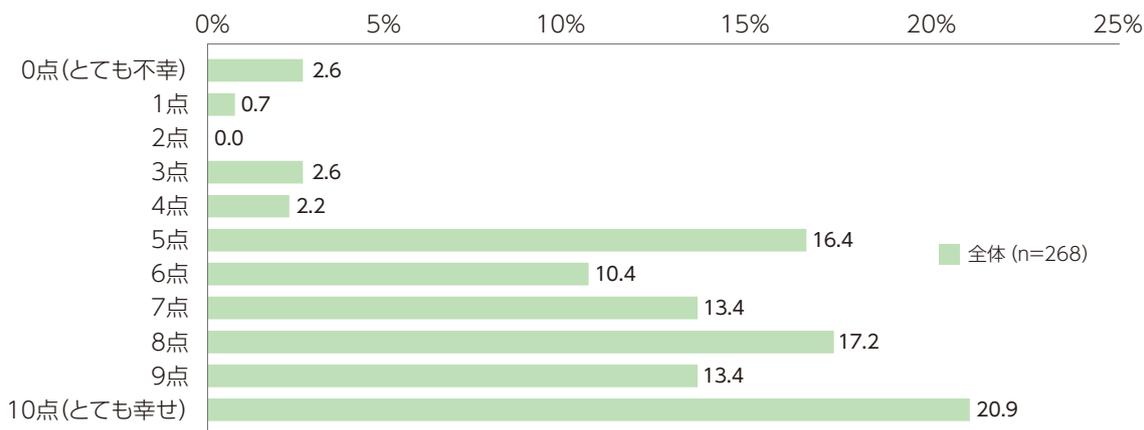
⑦ 暮らしの満足度について

現在住んでいる地区での暮らしにどの程度「満足」しているかについては、「10点（とても満足）」が21.6%と最も高くなっています。



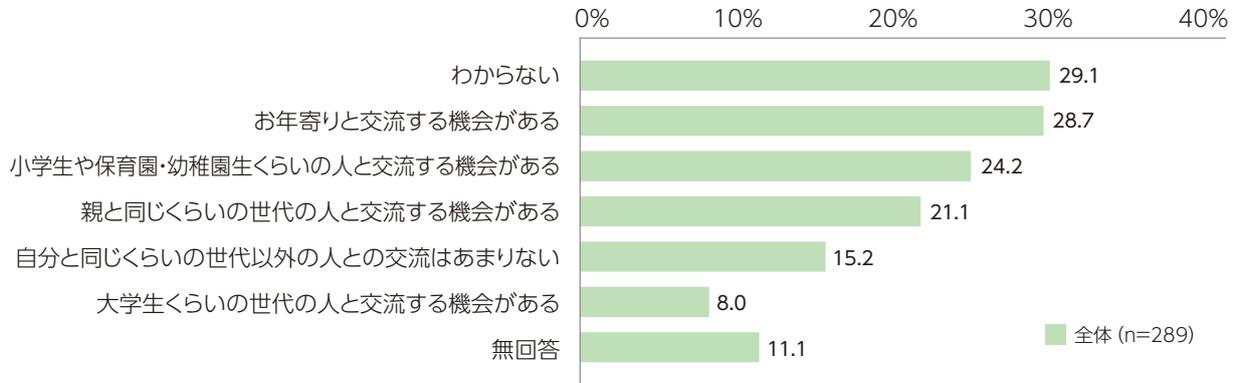
⑧ 地区の人々の幸福度について

地区の人々は、大体において、どれぐらい「幸せ」だと思うかについては、「10点（とても幸せ）」が20.9%と最も高くなっています。



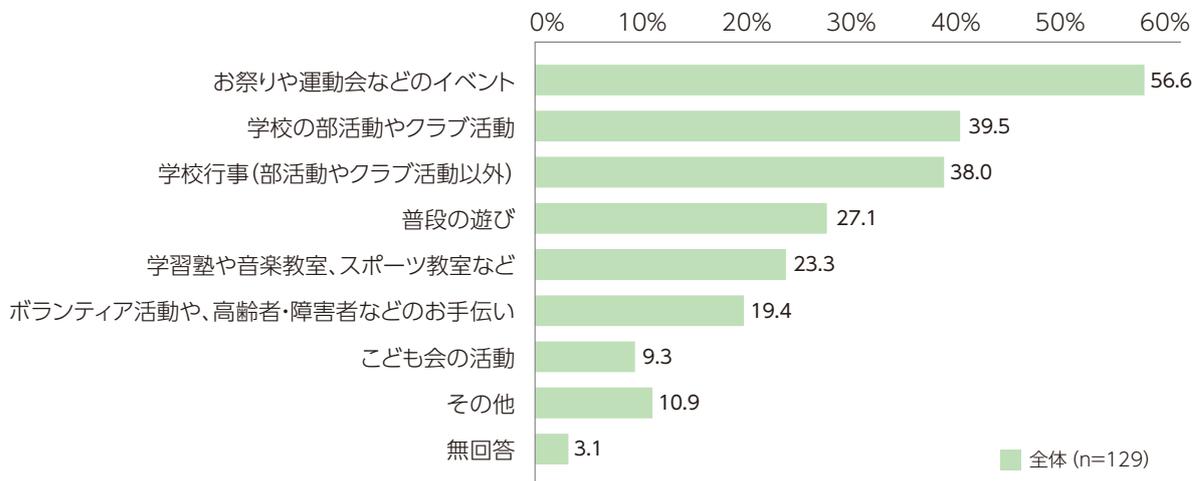
⑨ 佐川町のまちづくりについて

家族以外で、同級生や同じくらいの年齢の人「以外」と交流する機会について、「わからない」が29.1%と最も高く、「お年寄りと交流する機会がある」が28.7%、「小学生や保育園・幼稚園生くらいの人と交流する機会がある」が24.2%と続いています。



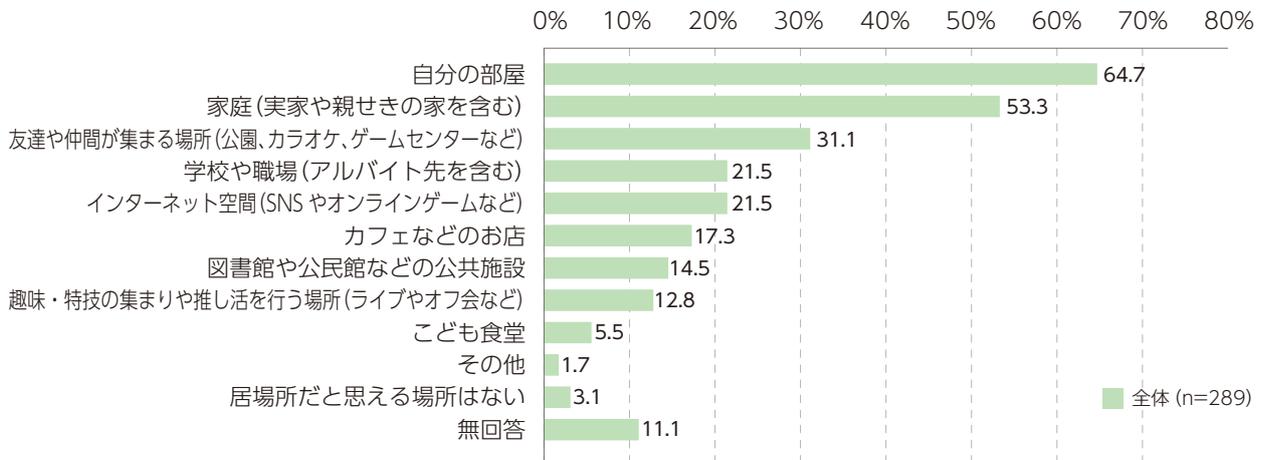
(家族以外で、同級生や同じくらいの年齢の人「以外」と交流する機会について、「お年寄りと交流する機会がある」「親と同じくらいの世代の人と交流する機会がある」「大学生くらいの世代の人と交流する機会がある」「小学生や保育園・幼稚園生くらいの人と交流する機会がある」と回答した方への質問)

自分と異なる世代の人と、どのような場面で交流することが多いかについて、「お祭りや運動会などのイベント」が56.6%と最も高く、「学校の部活動やクラブ活動」が39.5%、「学校行事(部活動やクラブ活動以外)」が38.0%と続いています。

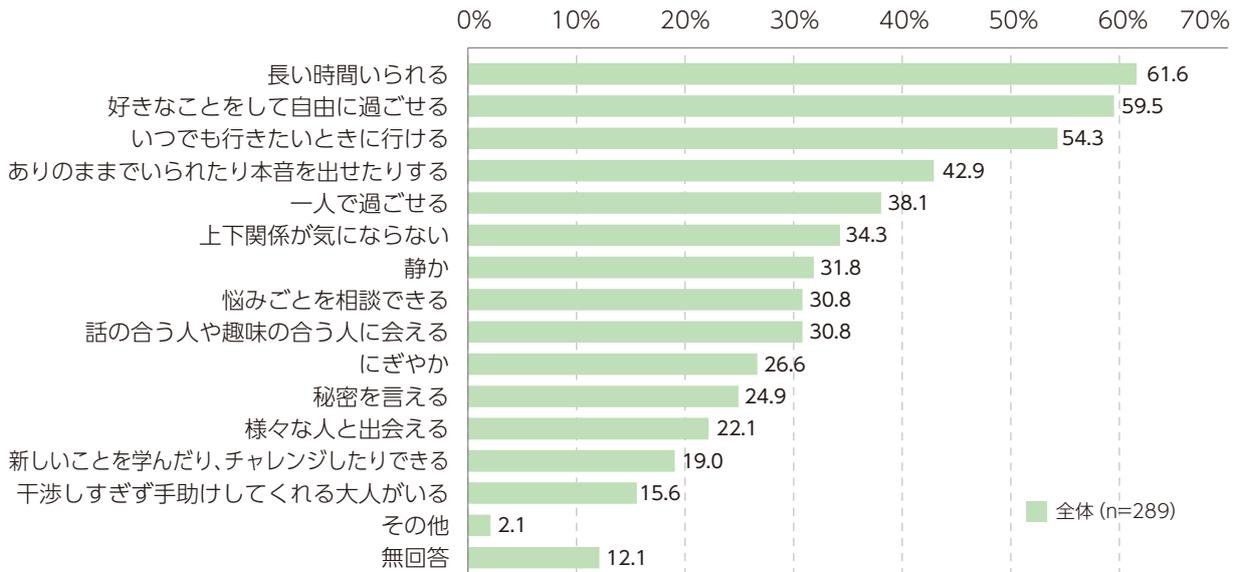


⑩ 若年層が感じる居場所について

若年層が感じる居場所について、「自分の部屋」が64.7%と最も高く、「家庭（実家や親せきの家を含む）」が53.3%、「友達や仲間が集まる場所（公園、カラオケ、ゲームセンターなど）」が31.1%と続いています。



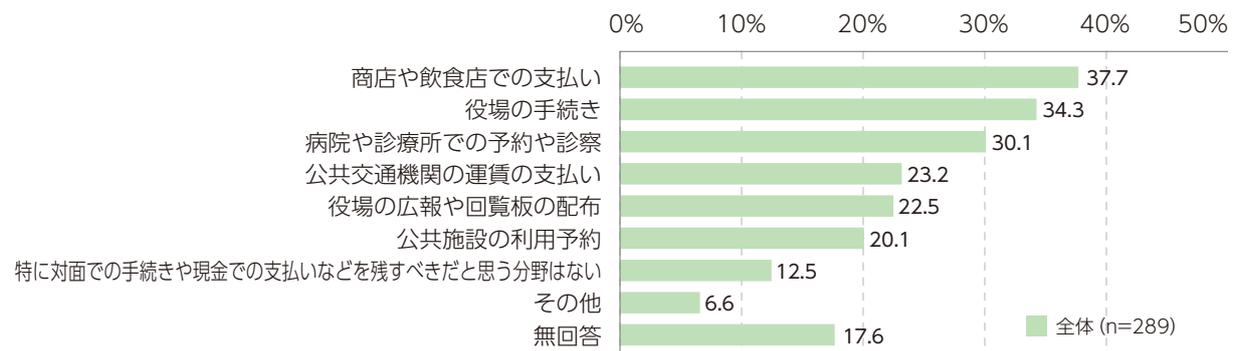
また、居場所の条件として「長い時間いられる」（61.6%）や「好きなことをして自由に過ごせる」（59.5%）が重要視されていました。



⑪ 町の将来への意識について

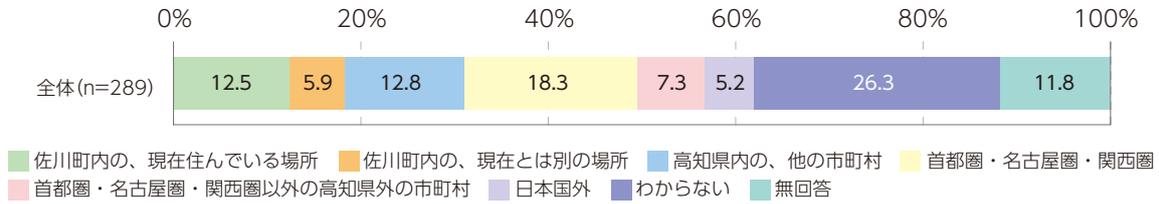
町のデジタル化について、「商店や飲食店での支払い」が37.7%と最も高く、「役場の手続き」が34.3%、「病院や診療所での予約や診察」が30.1%と続いています。

総じて、若年層は自然環境を魅力としつつも、生活の利便性向上に課題を感じていることが分かります。



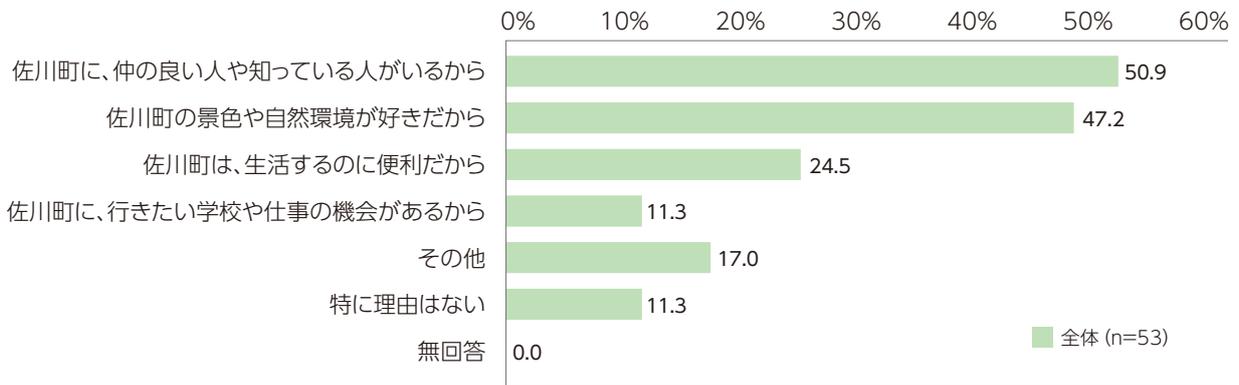
⑫ 10年後の居住場所について

10年後、どこに住んでいたいと思うかについて、「わからない」が26.3%と最も高く、「首都圏・名古屋圏・関西圏」が18.3%、「高知県内の、他の市町村」が12.8%と続いています。



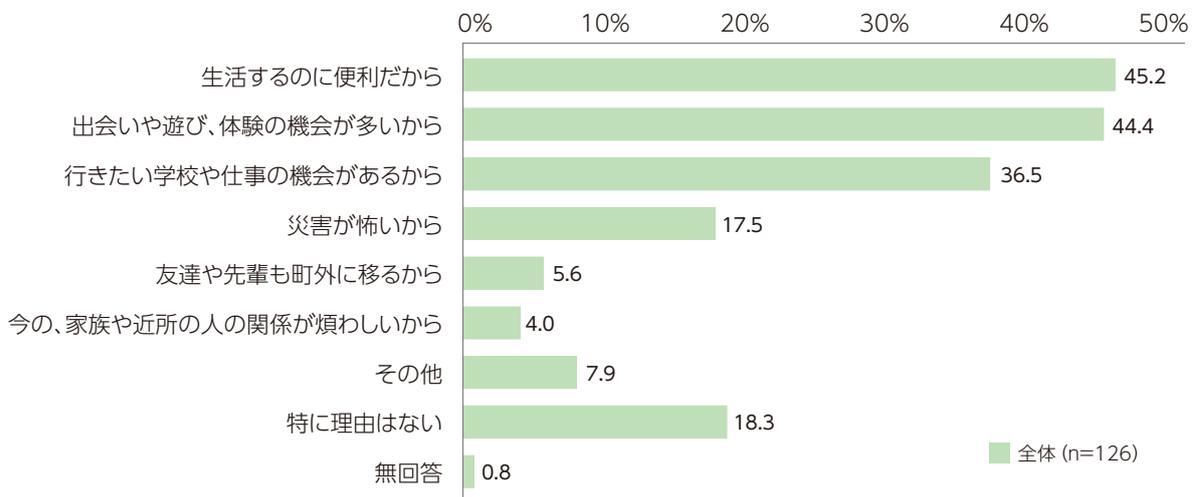
(10年後、どこに住んでいたいと思うかについて、「佐川町内の、現在住んでいる場所」「佐川町内の、現在とは別の場所」と回答した方への質問)

どうして10年後も佐川町内に住んでいたいと思うかについて、「佐川町に、仲の良い人や知っている人がいるから」が50.9%と最も高く、「佐川町の景色や自然環境が好きだから」が47.2%、「佐川町は、生活するのに便利だから」が24.5%と続いています。



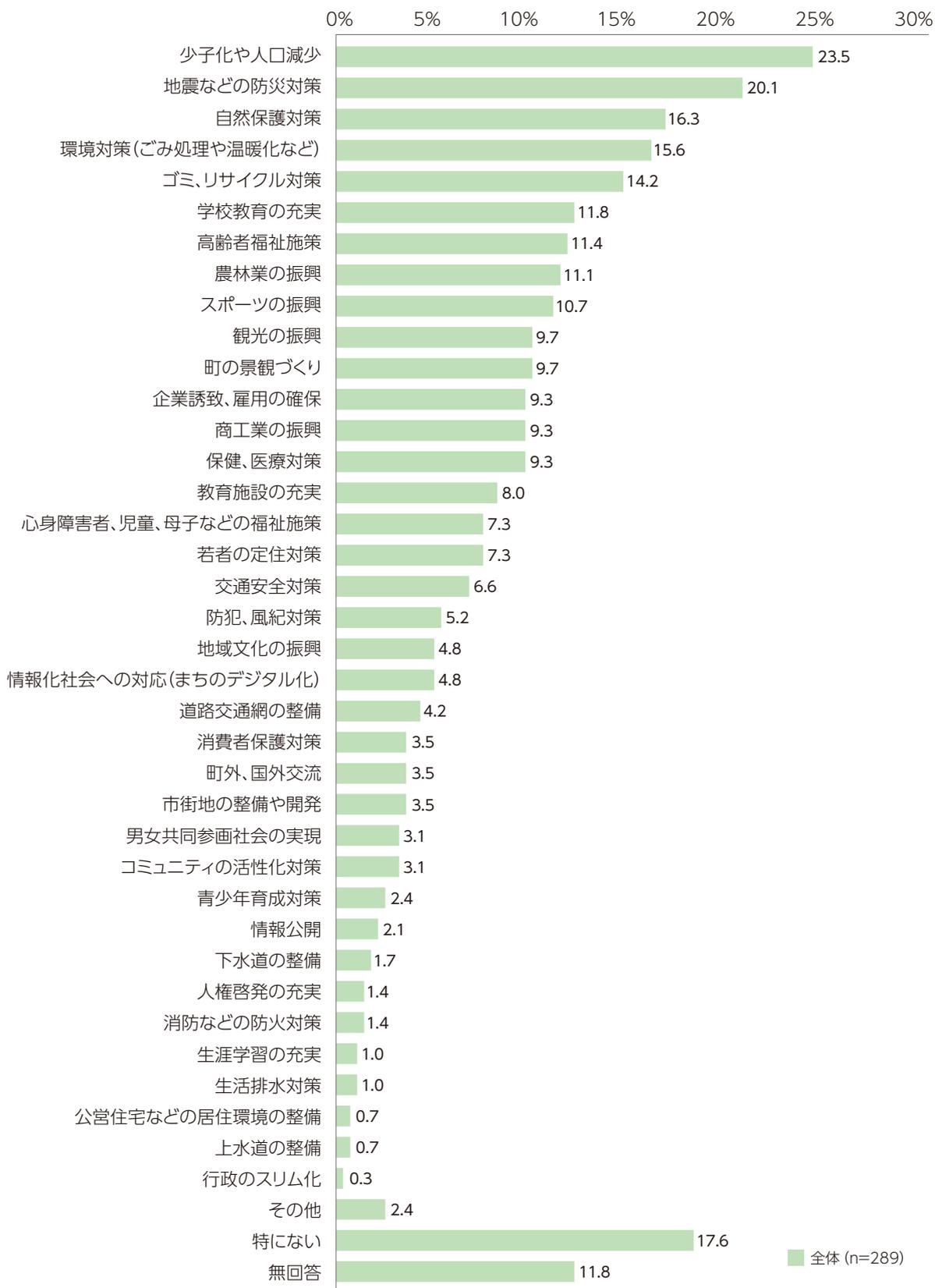
(10年後、どこに住んでいたいと思うかについて、「高知県内の、他の市町村」「首都圏・名古屋圏・関西圏」「首都圏・名古屋圏・関西圏以外の高知県外の市町村」「日本国外」と回答した方への質問)

どうして10年後は佐川町外に住んでいたいと思うかについて、「生活するのに便利だから」が45.2%と最も高く、「出会いや遊び、体験の機会が多いから」が44.4%、「行きたい学校や仕事の機会があるから」が36.5%と続いています。



⑬ 今後 10 年間で力を入れて欲しい施策分野について

今後 10 年間で、役場はどのような分野に特に力を入れるべきかについて、「少子化や人口減少」が 23.5% と最も高く、「地震などの防災対策」が 20.1%、「自然保護対策」が 16.3% と続いています。



第1部

第2部

第3部

参考資料